

2023年度版ルール 新旧対照表

6. GTR

旧

目次	6.11 競技手順	
	6.18 エアライフルおよびエアピストルミックスチーム種目	
	6.19 書類様式	
	6.20 ISSSFドレスコード	
	6.21 索引	
定義と略号		
選手 (Athletes)	スポーツ競技会の競技者または参加者。射撃スポーツにおける競技者は時には射手と呼ばれる。	
審査 (Classification)	以前のISSFルールブックで使われていた「採点、計時、成績」に対応する用語。「RTS」の項を参照。	
種目 (Event)	個別の進行方法とルールにより行われる特定の射撃種目。ISSFでは他にも個人・団体・少年などの年齢別を含め多くの種目を公認している。	
ファイナル (Final)	ファイナルとはオリンピック実施種目の最終競技ステージのことである。ファイナルでは、本選上位6または8名の選手が最終順位決定のために新しい(0点から始まる)競技を行う。	
メダルマッチ (Medal Match)	10mランニングターゲット60発および40発種目では上位4選手の最終順位を決定するためのメダルマッチ戦が行われる。	
オリンピック種目 (Olympic Event)	オリンピック大会のプログラムに含まれる国際オリンピック委員会に承諾された射撃種目。射撃では15種目ある。各オリンピック種目は本選とファイナルで実施される。	

新

目次	6.11 競技手順 (6.17 ファイナル競技手順も参照のこと)	
	6.18 エア ライフルおよび エア ピストルミックスチーム種目	6.19、6.20 省略
	6.19 21 書類様式	
	6.20 22 ISSSFドレスコード	
	6.21 23 索引	
定義と略号		
選手 (Athletes)	スポーツ競技会の競技者または参加者。 射撃スポーツにおける競技者は時には射手と呼ばれる。	
審査 (Classification)	以前のISSFルールブックで使われていた「採点、計時、成績」に対応する用語。「RTS」の項を参照。	
種目 (Event)	個別の進行方法とルールにより行われる特定の射撃種目。 ISSFでは他にも個人・団体・少年などの年齢別を含め多くの種目を公認している。	
ファイナル (Final)	ファイナルとは オリンピック実施 種目の最終競技ステージのことである。ファイナルでは、本選上位6または8名の選手が最終順位 およびメダル の決定のために新しい(0点から始まる)競技を行う。	
	MQS	Minimum Qualification Score: 最少資格得点
	メダルマッチ (Medal Match)	10mランニングターゲット60発および40発種目では上位4選手の最終順位を決定するためのメダルマッチ戦が行われる。
オリンピック種目 (Olympic Event)	各オリンピック大会のプログラムに含まれる国際オリンピック委員会に承諾された射撃 スポーツ 種目。射撃 競技 では15種目ある。各オリンピック種目は本選とファイナルで実施される。	
	オープン種目	選手の性別や年齢に関係なく実施される種目

RTS	成績(Results)、計時(Timing)と採点(Scoring)。RTSの過程は競技実施の一部であり、そこには射座割表の準備、標的の採点、減点等の適用および成績表の準備とが含まれる。
シリーズ (Series)	射撃ステージや射撃コースの中での射撃順序。多くの射撃種目は10発シリーズで構成される。25mピストル種目では5発シリーズで構成される。
スポーツ (Sport)	共通の要素と一つの団体が統括するということで区別される競技のこと。射撃は選手が銃で標的を撃ち、その得点で順位を競うという“スポーツ”である。IOCは射撃を夏季オリンピック大会における28のスポーツの1つとして認めている。
スポーツプレゼンテーション (Sports Presentation)	観客やテレビ視聴者に更なる興味と情報を持ってもらうために、射撃種目の運営の中で使用されるアナウンス、音楽および教育的メディアのような映像、音響および情報提供。
団体種目 (Team Events)	ISSFは世界選手権大会で行われる団体種目を承認している。 団体種目は個人種目に参加する3人の選手の得点の合計点を基にして順位付けされる。

ランキングリスト	ISSF選手権大会の選手の成績に基づく2種類のランキングリストがある。 1. 世界ランキング: 年間のISSF選手権大会における各選手の成績に基づくランキングリスト 2. オリンピック大会出場資格者リスト: オリンピック大会予選期間中のIOCによって認可されたISSFオリンピック予選競技会における各選手の成績に基づくランキングリスト
RTS	成績(Results)、計時(Timing)と採点(Scoring)。RTSの過程は競技実施の一部であり、そこには射座割表の準備、標的の採点、減点等の適用および成績表の準備と発行が含まれる。
シリーズ (Series)	射撃ステージや射撃コースの中での射撃順序。 多くの射撃種目は10発シリーズで構成される。25mピストル種目では5発シリーズで構成される。
スポーツ (Sport)	共通の要素と一つの団体が統括するということで区別される競技のこと。射撃は選手が銃で標的を撃ち、その得点で順位を競うという“スポーツ”である。IOCは射撃を夏季オリンピック大会における28の中心スポーツの1つとして認めている。
スポーツプレゼンテーション (Sports Presentation)	観客やテレビ視聴者にとってより興味深く有益なものにするために、射撃種目の運営の中で使用されるアナウンス、音楽、色および教育的メディアのような映像、音響および情報提供。
団体種目 (Team Events)	ISSFは 世界選手権大会で行われる 団体種目を承認している。 団体種目は 個人種目に参加する 3人の選手の得点の合計点を基にして順位付けされる。 ミックス種目は同一国の男女によって行われる。

この表はISSF承認射撃種目の一覧表であり、IOC(国際オリンピック委員会)やISSF総会によって、管理理事会によって承認された各競技種目における競技形式や撃発数に関する基本的技術的詳細と伴に承認されたステータスの一覧表である。

- ・ISSF選手権大会において、男子、少年男子、女子および少年女子の種目が個人戦のみとなるか個人戦と団体戦(3人)となるかは、その大会で定められた規定と競技予定による。
- ・ステータスは各種目に関して承認されたステータスを示している。
 - ・M=男子種目として承認されている種目
 - ・W=女子種目として承認されている種目
 - ・MJ=少年男子種目として承認されている種目
 - ・WJ=少年女子種目として承認されている種目
 - ・Olympic=オリンピック種目としてIOCに承認されている種目
 - ・WCH=世界選手権大会で実施必須の種目
 - ・WCHS=通常の世界選手権大会で実施できない場合、別開催の世界選手権大会として開催される別開催世界選手権大会の種目
- ・オリンピック種目は本選とファイナルが非オリンピック種目は本選のみでファイナルはない
- ・すべてのISSF種目のテクニカルルールはゼネラルテクニカルルールおよびライフル、ピストルルールに記載されている
- ・ライフルおよびピストル種目のファイナルのテクニカルルールは6.17に記載されている
- ・ミックスチーム種目のテクニカルルールは6.18に記載されている。

男子および少年男子の種目

10mエアライフル(立射) ファナル		24発(最多)
50mライフル三姿勢(膝射、伏射、立射) 略号、本選、ファイナル	FR3 × 40	3 × 40発 3 × 15発(最多)
300mライフル三姿勢(膝射、伏射、立射) 略号、本選	300FR3 × 40	3 × 40発
10mエアピストル ファナル		24発(最多)
25mラピッドファイアピストル(8、6、4秒射シリーズ) ファイナル		8 × 5発(最多)

女子および少年女子の種目

10mエアライフル(立射) ファナル		24発(最多)
--------------------	--	---------

この表はISSF承認射撃種目の一覧表であり、~~IOC~~(国際オリンピック委員会)やISSF総会(1.6.7.7)によって、管理理事会(1.7.2.5)によって承認された各競技種目における競技形式や撃発数に関する基本的技術的詳細と伴に承認されたステータスの一覧表である。

- ・ISSF選手権大会において、男子、少年男子、女子および少年女子の種目が個人戦のみとなるか個人戦と団体戦(3人)と**ミックス種目**となるかは、その大会で定められた規定と競技予定による。
- ・ステータスは各種目に関して承認されたステータスを示している。
 - ~~+~~a) M=男子種目として承認されている種目
 - ~~+~~b) W=女子種目として承認されている種目
 - ~~+~~c) MJ=少年男子種目として承認されている種目
 - ~~+~~d) WJ=少年女子種目として承認されている種目
 - ~~+~~e) Olympic=オリンピック種目としてIOCに承認されている種目
 - ~~+~~f) WCH=世界選手権大会で実施必須の種目
 - ~~+~~g) WCHS=通常の世界選手権大会で実施できない場合、別開催の世界選手権大会として開催される別開催世界選手権大会の種目(3.3.6.3および3.3.6.4参照)
 - ~~+~~h) オリンピック種目は本選とファイナルが**行われ**、非オリンピック種目は本選**のみでオプションのファイナルはないが**行われる。
 - ~~+~~i) すべてのISSF種目のテクニカルルールはゼネラルテクニカルルールおよびライフル、ピストルルール(7.0、8.0)に記載されている
 - ~~+~~j) ライフルおよびピストル種目のファイナルのテクニカルルールは6.17に記載されている
 - ~~+~~k) ミックスチーム種目のテクニカルルールは6.18に記載される

男子および少年男子の種目

10mエアライフル(立射) ファイナル		24発(最多)
50mライフル三姿勢(膝射、伏射、立射) 略号、本選、ファイナル	FR3 × 40 20	3 × 40 20発 3 × 15 45発(最多)
300mライフル三姿勢(膝射、伏射、立射) 略号、本選	300mFR3 × 40 20	3 × 40 20発
10mエアピストル ファイナル		24発(最多)
25mラピッドファイアピストル(8、6、4秒射シリーズ) ファイナル		8 × 5 40発(最多)

女子および少年女子の種目

10mエアライフル(立射) ファイナル		24発(最多)
---------------------	--	----------------------

50mライフル三姿勢 R3×40 3×40発 3×15発(最多)
(膝射、伏射、立射)
略号、本選、ファイナル

300mライフル三姿勢 300R3×40 3×40発
(膝射、伏射、立射)
略号、本選
10mエアピストル 24発(最多)
ファイナル

25mピストル(精密および速射シリーズ) 10×5発(最多)
ファイナル

男女2名によるミックスチーム種目

10mエアライフル(立射) ステータス、本選、ファイナル M、W、MJ、WJ、Olympic、WCH 40+40発
2×24発(エリミネーションは17発目より後に始まる)

10mエアピストル ステータス、本選、ファイナル M、W、MJ、WJ、Olympic、WCH 40+40発
2×24発(エリミネーションは17発目より後に始まる)

6.1.1 ISSFルール目標と目的

ISSFはISSFの認可を受けて行われる射撃競技を監督統括する目的でテクニカルルールを制定している(GR3.3)。ISSFテクニカルルールは全世界における射撃競技の運営の統一を確立することにより、射撃スポーツの発展を促進することを目的とする。

- a) ISSFゼネラルテクニカルルール(GTR)は射場基準、標的規格、採点手順およびすべての射撃種目における具体的な競技手順を含む。種目別ルール(DR)はライフル、ピストル、ショットガン、ランニングターゲットの4つの射撃種目でそれぞれに適用される。

6.1.2.b ISSFは、理事会の承認を得て、試合管理のISSF基準(例えば、テクニカルデレゲート、ジュリー、ドーピングコントロール、参加手順、成績管理など)が満たされるその他の競技大会を、MQS得点が獲得でき、世界記録が公認される競技大会として認定することができる。

6.1.5.1.b 競技ジュリー

50mライフル三姿勢 R3×4020 3×4020発 3×1545発(最多)
(膝射、伏射、立射)
略号、本選、ファイナル

300mライフル三姿勢 300mR3×4020 3×4020発
(膝射、伏射、立射)
略号、本選
10mエアピストル 24発(最多)
ファイナル

25mピストル 10×550発(最多)
ファイナル

男女2各1名によるミックスチーム種目

10mエアライフル(立射) ステータス、本選、ファイナル M←+W、MJ←+WJ←Olympic、WCH 40+4030発ずつ
2×24発(エリミネーションは17発目より後に始まる)ファイナルステージ1、2 メダルマッチは16ポイント先取で勝利

10mエアピストル ステータス、本選、ファイナル M←+W、MJ←+WJ←Olympic、WCH 40+4030発ずつ
2×24発(エリミネーションは17発目より後に始まる)ファイナルステージ1、2 メダルマッチは16ポイント先取で勝利

6.1.1 ISSFルール目標と目的

ISSFはISSFの認可を受けて行われる射撃競技を監督統括する目的でテクニカルルールを制定している(GR3.3)。ISSFテクニカルルールは全世界における射撃競技の目標はISSF選手権大会およびISSFが認可した競技会の運営の統一を確立することによりである。オリンピック大会における射撃競技はIOCが認可する。それらは全世界における射撃スポーツに適用され射撃このスポーツの発展を促進することを目的とする。

- a) ISSFゼネラルテクニカルルール(GTR)は射場基準、標的規格、採点手順およびすべての射撃種目における具体的な競技手順を含む。種目別ルール(DR)はライフル、ピストル、ショットガン、ランニングターゲットおよびターゲットスプリントの45つの射撃種目でそれぞれに適用される。

ISSFは、理事会の承認を得て、試合管理のISSF基準(例えば、テクニカルデレゲート、ジュリー、ドーピングコントロール、参加手順、成績管理など)が満たされるその他の競技大会を、MQS/RPO得点が獲得でき、世界記録が公認される競技大会、例えばグランプリ競技会、として認定することができる。

6.1.5.1.b 競技/用具検査/RTSジュリー

6.1.5.1.c	上訴ジュリー	6.1.5.1.c	上訴ジュリーを任命することはできる。別の方法として、TDが必要に応じて上訴ジュリーを任命することができる。														
6.1.5.2	組織委員会 GR3.4.1に従って、各ISSF選手権大会では組織委員会が設置されなければならない。組織委員会は射撃競技会の準備、運営、管理に責任を持つ。組織委員会は次の役員を任命しなければならない。	6.1.5.2	組織委員会 GR3.4.1に従って、各ISSF選手権大会では組織委員会が設置されなければならない。組織委員会は射撃競技会の準備、運営、管理に責任を持つ。組織委員会は次の役員を、ISSFと協力をして、任命しなければならない。														
6.2.5 2行目	イヤーマフまたは類似の聴力保護用具の使用を強く要請する。	6.2.5 2行目	イヤーマフまたは類似の聴力保護用具の使用を強く要請するを使用しなければならない。														
6.2.6 2行目	目に対する保護用具の使用を強く要請する。	6.2.6 2行目	目に対する保護用具の使用を強く要請するすべきである。														
6.3.2.1	電子標的はISSFによってテストされ、公認されたものだけが使用できる。	6.3.2.1	電子標的はISSFによってテストされ、公認されたものだけを使用できるしなければならない。														
6.4.1.1 1行目	射場設置の最小必要条件是GR3.5.1に示すとおりである。	6.4.1.1 1行目	射場設置の最小必要条件是GR3.5.1に示すとおりである。														
6.4.3.3.d	50m、25m射場については屋外設置であるべきであるが、法的な要請、気候による必要性がある場合には例外的に屋内または閉鎖された環境下に設置できる。	6.4.3.3.d	25m、50m射場については屋外設置であるべきであるが、法的な要請、気候による必要性がある場合には例外的に屋内または閉鎖された環境下に設置できる。														
6.4.5.3	50mのライフル、ピストル、ランニングターゲット兼用射場の許容差 略	6.4.5.3	50mのライフル、ピストル、ランニングターゲット兼用射場の許容差 略														
6.4.6.3	25mピストル射場における射座の位置の水平方向での許容差	6.4.6.3	50mおよび10mランニングターゲット射場と25mピストル射場における射座の位置の水平方向での許容差														
6.4.14	屋内射場の要求照度(ルクス) <table border="1" data-bbox="552 1520 1228 1591"> <tr> <td rowspan="2">屋内射場</td> <td>全体</td> <td colspan="2">標的面</td> </tr> <tr> <td>最少(推奨)</td> <td>最少</td> <td>推奨</td> </tr> </table>	屋内射場	全体	標的面		最少(推奨)	最少	推奨	6.4.14	屋内射場の要求照度(ルクス) <table border="1" data-bbox="1688 1520 2365 1591"> <tr> <td rowspan="2">屋内射場</td> <td>全体</td> <td colspan="2">標的面</td> </tr> <tr> <td>推奨最小値</td> <td>最小値</td> <td>推奨値</td> </tr> </table>	屋内射場	全体	標的面		推奨最小値	最小値	推奨値
屋内射場	全体		標的面														
	最少(推奨)	最少	推奨														
屋内射場	全体	標的面															
	推奨最小値	最小値	推奨値														
6.4.14.3		6.4.14.3	光測定、特にLED照明においてはルーメンで測定することもできる。														
6.4.14.3		6.4.14.34															
6.5.2 B	測定おもり 1kg(取っ手、測定円盤Cを含む)	6.5.2 B	測定おもり 1000kg(取っ手、測定円盤Cを含む)														

6.6.1.2 公式スケジュール ISSF事務局、組織委員会およびその大会のテクニカルデレゲートは各選手権大会の詳細な公式スケジュールを準備しなければならない。選手権大会のスケジュールには、公式到着日、1日以上の公式練習、競技実施の必要日数と公式出発日が含まれているべきである。世界選手権大会の公式練習日、開閉会式を含めたスケジュールは16日間を超えないようにすべきである。組織委員会の選択として、公式練習日以前に追加の練習日として射場を開けることはできる。公式スケジュールは公式練習、競技前練習、予選、本選、ファイナル出頭時刻、ファイナルおよび表彰式の日時が入っていないなければならない。公式スケジュールは、選手権大会の前年の11月のISSF組織委員会のためのワークショップ年会の後できるだけ早くISSFウェブサイトで発表されなければならない。テクニカルデレゲートによって承認されたスケジュール変更は最終参加締切りの後できるだけ早く作成され、全参加選手団に配布されなければならない。

6.6.1.3 参加資格および制限 国内競技連盟は、ISSF選手権大会で、表彰対象となる選手を各国各種目最大3名参加させることができる。加えてワールドカップ大会では、組織委員会の選択により、オリンピックMQS資格を争う(MQSのみ)または表彰対象外(OOC)の参加者として各国各種目最大2名の追加選手を受け入れることができる。

6.6.3.1 公式練習 ワールドカップ大会では公式到着日の翌日に1日間の公式練習日を設定しなければならない。

6.6.3.2 競技前練習(PET) 競技前練習は各個人種目の予選または本選の競技実施前日に行われなければならない。もし、ミックスチーム種目が同様の個人種目の後に続いてある場合、競技実施予定に空き時間があるときには、射座を指定しない形式での競技前練習を予定することができる。ライフル、ピストルの個人種目については、各選手が自分の競技する射座で1射群あたり40分以上(ラピッドファイアピストルにおいては1射群あたり30分以上)の練習がその種目の競技実施前日にできなければならない。この練習時間は公式練習に追加されるものである。

6.6.1.2 公式スケジュール ISSF事務局、組織委員会およびその大会のテクニカルデレゲートは各選手権大会の詳細な公式スケジュールを準備しなければならない。選手権大会のスケジュールには、公式到着日、1日以上の公式練習~~または競技前練習(PET)~~、競技実施の必要日数と公式出発日が含まれているべきである。世界選手権大会の公式練習日、開閉会式を含めたスケジュールは~~1620~~日間を超えないようにすべきである。組織委員会の選択として、公式練習日(PET)以前に追加の~~非公式~~練習日として射場を開けることはできる。公式スケジュールは公式練習、競技前練習、予選の射群、本選の射群、ファイナル出頭時刻、ファイナルおよび表彰式の日時が入っていないなければならない。~~公式スケジュールは、選手権大会の前年の11月のISSF組織委員会のためのワークショップ年会の後できるだけ早くISSFウェブサイトで発表されなければならない。~~テクニカルデレゲートによって承認されたスケジュール変更は最終参加締切りの後できるだけ早く作成され、全参加選手団に配布されなければならない。

6.6.1.3 参加資格および制限 国内競技連盟は、ISSF選手権大会で、表彰対象となる選手を各国各種目最大3名参加させることができる。加えてワールドカップ大会では、組織委員会~~の選択によりは、~~ランキングポイント獲得のみ(RPO)、オリンピックMQS資格を争う(MQSのみ)または表彰対象外(OOC)の参加者として各国各種目最大2名の追加選手を受け入れることができる。

6.6.3.1 公式練習 ~~ワールドカップ大会では~~公式到着日~~の翌日~~には~~1日間~~の公式練習~~日~~を設定しなければならない。

6.6.3.2 競技前練習(PET) 競技前練習は各個人種目の予選または本選の~~競技実施前日~~に行われなければならない。もし、~~ミックスチーム種目が同様の個人種目の後に続いてある場合、~~競技実施予定に空き時間があるときには、~~射座を指定しない形式での競技前練習を~~予定することができる。ライフル、ピストル、~~ランニングターゲット~~の個人種目については、各選手が自分の競技する射座で1射群あたり40分以上(ラピッドファイアピストルにおいては1射群あたり30分以上、~~ランニングターゲット~~においては1射手あたり15分以上)の練習がその種目の競技実施の可能な限り前日にできなければならない。この練習時間は公式練習に追加されるものである。~~ミックスチーム種目が同様の個人種目の後に続いてある場合、~~競技実施予定に空き時間があるときには、射座を指定しない形式での競技前練習を予定することができる。

6.6.3.4 電子トレーニング/追跡装置
電子トレーニング/追跡装置は、競技前練習(PET)中、競技中(予選、本選、ファイナル)には使用できないが、公式および非公式練習中には使用できる。

- 6.6.4 参加と参加確認
各国連盟は公式到着日の30日前の最終参加締切りまでにISSFオンライン登録サービスに参加申込書を送付しなければならない(GR3.7.3.4)。
a) 遅れた参加の申し込みは、追加の罰金の支払いと空き射座があれば、公式到着日の3日前まで提出することができる(GR3.7.3.4)。
b) 組織委員会に対する参加確認と参加料の支払いは到着までにチームリーダーが完了しておかなければならない(GR3.7.4)。
c) 参加者の変更はGR3.7.3に従ってのみ行うことができる。参加者の変更は変更の生じる種目の競技前練習(PET)の行われる12時間前までに完了しなければならない。
- 6.6.5.a ライフルおよびピストル種目の射座割表は各種目の競技前練習の行われる16時間前には発表され、配布されていなければならない。
- 6.6.5.c 選手交代 団体種目に限り、該当種目の予定開始時刻の遅くとも30分前までなら、すでに登録してある選手を別の選手に交代することができる。このルールは競技が何回かに分けて行われたり、数日に渡って行われる場合でも適用される。

- 6.6.4 参加と参加確認
各国連盟は公式到着日の30日前の最終参加締切りまでにISSFオンライン登録サービスに参加申込書を送付しなければならない(GR~~3.7.3.4~~3.8.3.2)。
a) 遅れた参加の申し込みは、追加の罰金の支払いと空き射座があれば、公式到着日の3日前まで提出することができる(GR~~3.7.3.4~~3.8.3.3)。
b) 組織委員会に対する参加確認と参加料の支払いは、**参加証明書**の提出とともに、到着までにチームリーダーが完了しておかなければならない(GR~~3.7.4~~3.8.4.1)。
c) 参加者の変更はGR~~3.7.3~~3.8.3.4に従ってのみ行うことができる。参加者の変更は変更の生じる種目の競技前練習(PET)の行われる**前日の正午12時**までに完了しなければならない。
- 6.6.5.a ライフルおよびピストル種目の射座割表は各種目の競技前練習の行われる**前日の16時まで**には発表され、配布されていなければならない。**ミックス**種目については6.18.1.4参照。
- 6.6.5.c 選手交代 団体種目に限り、**例外的に**、該当種目の予定開始時刻の遅くとも**30分1時間**前までなら、すでに登録してある選手を別の選手に交代することができる。このルールは競技が何回かに分けて行われたり、数日に渡って行われる場合でも適用される。

6.6.6

射座割の基本原則

- a) 射座と射群の抽選は、テクニカルデレゲートの監督のもと、くじ引きがこの目的に合ったコンピュータプログラムで実施されなければならない。
- b) 射座割の決定にくじを用いることに際して、テクニカルデレゲートは射場の制約条件を考慮することを承認しなければならない。テクニカルデレゲートはMQSのみの選手を射場の特定の場所に集めることを承認することができる。
- c) 選手個人や各チーム(国)はできる限り平等に近い条件のもとで射撃ができるようにすべきである。
- d) 同じチーム(国)の選手が隣接する射座に割り当てられるべきではない。
- e) 各チーム(国)の選手はできる限り平等に各射群に割り振られるべきである。
- f) エアライフルまたはエアピストル種目において選手の数が射座数を超える場合、射座割は抽選によって2またはそれ以上の射群に振り分けられなければならない。
- g) 団体戦が複数の射群で行われるときは各チームの構成メンバーの選手を各射群に平等に割り当てなければならない。
- h) ライフル種目の競技が2日以上に渡って行われる場合、それぞれの日にすべての選手が同じ姿勢で同じ弾数を撃たなければならない。
- i) ピストル種目の競技が2つのパートまたは日に分けて実施される場合、後半または2日目が始まる前にすべての選手が前半または1日目を終えていなければならない。すべての選手はそれぞれの日に同数のシリーズを撃たなければならない。

6.6.6

ライフルおよびピストル種目における射座割の基本原則

- a) 射座と本選における射群のくじ引きは、テクニカルデレゲートの監督のもと、**ランダムに、くじ引き**がこの目的に合ったコンピュータプログラムで実施されなければならない。**2射群以上となる場合、ランキング30位までの選手は第2射群に配置すべきである。**
- b) **ファイナルにおける射座割も、6.17.1.2に従い、ランダムに割り付けられる。**
- bc)** 射座割の決定にくじを用いることに際して、テクニカルデレゲートは射場の制約条件を考慮することを承認しなければならない。テクニカルデレゲートはMQSのみ、**RPOおよびOOC**の選手を射場の特定の場所に集めることを承認することができる。
- ed)** 選手個人や各チーム(国)はできる限り平等に近い条件のもとで射撃ができるようにすべきである。
- de)** 同じチーム(国)の選手が隣接する射座に割り当てられるべきではない。
- ef)** 各チーム(国)の選手はできる限り平等に各射群に割り振られるべきである。
- fg)** エアライフルまたはエアピストル種目において選手の数が射座数を超える場合、射座割は抽選によって2またはそれ以上の射群に振り分けられなければならない。
- gh)** 団体戦が複数の射群で行われるときは各チームの構成メンバーの選手を各射群に平等に割り当てなければならない。
- hi)** ライフル種目の競技が2日以上に渡って行われる場合、それぞれの日にすべての選手が同じ姿勢で同じ弾数を撃たなければならない。
- ij)** ピストル種目の競技が2つのパートまたは日に分けて実施される場合、後半または2日目が始まる前にすべての選手が前半または1日目を終えていなければならない。すべての選手はそれぞれの日に同数のシリーズを撃たなければならない。

- 6.6.6.1 50mおよび300m屋外射場における予選
 選手の数が使用可能な射座数を超える場合、ジュニアワールドカップにおいてスケジュールに制限があり、テクニカルデレゲートによって予選が放棄された場合を除き、予選が行われなければならない。
- a) 予選はその種目の全コースを実施しなければならない。
- b) 予選の射群は本選の実施される日の前日に実施されるべきである。
- c) 予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない。予選通過者はできるだけ早く発表されなければならない。
- d) 計算式: 使用可能な射座数 ÷ 実参加者総数 × 射群の実参加者数 = 予選通過者数
 (例) 60射座で101人参加の場合
 第1射群: 54名 → $32.08 (60 \div 101 \times 54) = 32$ 名予選通過
 第2射群: 47名 → $27.92 (60 \div 101 \times 47) = 28$ 名予選通過
- e) 予選で団体戦を行う必要がある場合、各チームの選手は予選の各射群に同数ずつ振り分けられなければならない。団体戦の得点は予選の得点によるものとする。
- f) 第1射群に各チームの2名を第2射群に残りの1名を配分するには射座が不足してしまう場合、予選は各射群に1名ずつを配置する3つの射群により実施される。
- g) 予選を通過できなかった選手は本選に出場することは許されない。
- h) 予選通過者の最下位における同点の場合の順位決定は、同点の順位決定規則による。
- i) ジュニアワールドカップにおいて予選が予定されず射群が設定されていた場合、チームリーダーは選手に撃つ射群を指示しておかなければならない。

- 6.7.6.2.e 用具検査係は全ての射撃ジャケットと射撃ズボンを、選手に登録されたシリアルナンバーのついたタグを調べ、確認しなければならない。タグはタグを壊すことなく取り外すことができないように設計されてなければならない。2013年以前に“One Time Only検査”で発行されたタグはこの要求を満たしている。タグのないジャケットとズボンはISSFルールを遵守しているか検査され、選手に登録されたものとしてタグが取り付けられなければならない。用具検査ジュリー及びライフルジュリーは、ルール7.5.1.2に従い、ランダム検査でジャケットやズボンのタグを利用する。

- 6.6.6.1 50mおよび300m屋外射場における予選
 選手の数が使用可能な射座数を超える場合、予選が行われなければならない。ジュニアワールドカップにおいてスケジュールに制限がある場合、テクニカルデレゲートによって予選が放棄された場合を除き、することができる予選が行われなければならない。
- a) 予選はその種目の全コースを実施しなければならない。予選における得点はその種目の団体戦に参加している選手の得点として使用される。
- b) ランキング30位以上の選手は予選の第2射群に割り当てられる。その他の選手はランダムに割り当てられる。
- bc) 予選の射群は本選の実施される日の前日に実施されるべきである。
- ed) 予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない。各射群からの予選通過者はできるだけ早く人数は、代表者会議(テクニカルミーティング)で発表されなければならない。
- ee) 計算式:
 使用可能な射座数 ÷ 実射座割掲載参加者総数 × 各射群の実射座割掲載参加者数 = 予選通過者数
 (例) 60射座で101人参加の場合
 第1射群: 54名 → $32.08 (60 \div 101 \times 54) = 32$ 名予選通過
 第2射群: 47名 → $27.92 (60 \div 101 \times 47) = 28$ 名予選通過
- ef) 予選で団体戦を行う必要がある場合、各チームの選手は予選の各射群に同数ずつ振り分けられなければならない。団体戦の得点は予選の得点によるものとする。
- fg) 第1射群に各チームの2名を第2射群に残りの1名を配分するには射座が不足してしまう場合、予選は各射群に1名ずつを配置する3つの射群により実施される。
- gh) 予選を通過できなかった選手は本選に出場することは許されない。
- hi) 予選通過者の最下位における同点の場合の順位決定は、同点の順位決定規則による。
- ji) ジュニアワールドカップにおいて予選が予定されず射群が設定されていた場合、チームリーダーは選手に撃つ射群を指示しておかなければならない。
- k) 50m三姿勢種目の予選において、1射群で実施されるなら、本選とみなし、上位8名がファイナルへ進出する。

- 6.7.6.2.e 用具検査係は全ての射撃ジャケットと射撃ズボンを、選手に登録されたシリアルナンバーのついたタグを調べ、確認しなければならない。タグはタグを壊すことなく取り外すことができないように設計されてなければならない。2013年以前に“One Time Only検査”で発行されたタグはこの要求を満たしている。タグのないジャケットとズボンはISSFルールを遵守しているか検査され、選手に登録されたものとしてタグが取り付けられなければならない。用具検査ジュリー及びライフルジュリーは、ルール7.5.1.2に従い、ランダム検査でジャケットやズボンのタグを利用する。

6.7.6.2.i もしライフル用の服装を同じ選手権大会の期間中に2度目もしくは再検査のために再提出するならば、再検査費用として20.00ユーロが課せられる。

6.7.7.2 Bib番号は競技前練習中や競技中を通して常に選手の上着の腰より上の背部に付けられていなければならない。もしBib番号を持っていて付けていない場合、選手は競技することはできない。

6.8.a 競技(ライフル、ピストル、ショットガン、ランニングターゲット)ジュリーは各種目の競技運営を監督する。

6.11.1.1 準備および試射時間
選手には競技開始前に最終準備と弾数無制限の試射を行うために15分間が与えられなければならない。
a) 準備及び試射時間は本射の公式開始時刻の約30秒前に終わらせなければならない。
b) 準備および試射時間の開始15分前までに試射的は上げられていなければならない。
c) 選手は射場長が選手を射座に呼び寄せる前に銃や用具の射座への持ち込みをすることはできない。
d) 射場長は準備および試射時間の開始15分前までに選手を射座に呼び寄せなければならない。
e) 複数の射群がある場合、すべての射群で射座への用具の持ち込みのための時間が同じになるようにしなければならない。
f) 射場長が選手を射座に呼び寄せた後は準備および試射時間前であっても、選手は射撃線において銃を取り扱い、据銃、照準、空撃ち(空撃ちのためにセフティフラッグを外すことができる)をすることができる。ファイナルでは、選手は準備および試射時間が始まるまではセフティフラッグを外したり、空撃ちをすることはできない。
g) ジュリーと射場役員による競技前チェックは準備および試射時間が始まるまでに完了しなければならない。

6.7.6.2.i もしライフル用の服装を同じ選手権大会の期間中に2度目もしくは再検査のために再提出するならば、再検査費用として20.00ユーロが課せられる。**服装、用具は4回以上用具検査へ提出することはできない。3回目でも合格できなかった服装、用具は競技会では使用できなくなり、成績は失格となる。**

6.7.7.2 Bib番号は競技前練習中や競技中の**全てのステージ**を通して常に選手の上着の腰より上の背部に付けられていなければならない。もしBib番号を持っていて付けていない場合、選手は競技することはできない。**ファイナルではレポータイングタイムに新しいBib番号が渡される。**

6.8.a 競技(ライフル、ピストル、ショットガン、ランニングターゲット、**ターゲットスプリント**)ジュリーは各種目の競技運営を監督する。

6.11.1.1 準備および試射時間
選手には**その種目の公表された競技開始時刻の少なくとも25分前に射座入りできなければならない、用具準備のための10分間と競技開始前に最終準備と弾数無制限の試射を行うために**の15分間が**与えら**許されなければならない。
a) 準備及び試射時間は本射の公式開始時刻の約30秒前に終わらせなければならない。
b) 準備および試射時間の開始15分前までに試射的は上げられていなければならない。
c) 選手は射場長が選手を射座に呼び寄せる前に銃や用具の射座への持ち込みをすることはできない。
d) 射場長は準備および試射時間の開始15分前までに選手を射座に呼び寄せなければならない。
ed) 複数の射群がある場合、すべての射群で射座への用具の持ち込みのための時間が同じになるようにしなければならない。
fe) 射場長が選手を射座に呼び寄せた後は準備および試射時間前であっても、選手は射撃線において銃を取り扱い、据銃、照準、空撃ち(空撃ちのためにセフティフラッグを外すことができる)をすることができる。ファイナルでは、選手は準備および試射時間が始まるまではセフティフラッグを外したり、空撃ちをすることはできない。
ef) ジュリーと射場役員による競技前チェックは準備および試射時間が始まるまでの10分間に完了しなければならない。

- h) 準備および試射時間は“PREPARATION AND SIGHTING TIME. . . START(プレパレーション アンド サイティング タイム. . . スタート)”の号令により開始される。“START(スタート)”の号令前の発射はできない。
- i) 準備および試射時間の開始前に1発以上の弾を発射してしまった選手には、安全上の問題のある場合は、失格が科せられなければならない。安全上の問題のない場合(6.2.3.5)は、本射の1発目を0点として記録しなければならぬ。
- j) 準備および試射時間が14分30秒を過ぎたとき、射場役員は“30 SECONDS(サーティー セコンズ)”とアナウンスしなければならない。
- k) 準備および試射時間の終了時刻には、射場長の“END OF PREPARATION AND SIGHTING. . . STOP(エンド オブ プレパレーション アンド サイティング. . . ストップ)”の号令が発せられなければならない。その後、標的役員が本射への切換えをできるように、約30秒間の休止をとらなければならない。
- l) “END OF PREPARATION AND SIGHTING. . . . STOP(エンド オブ プレパレーション アンド サイティング. . . . ストップ)”の号令の後、“MATCH FIRING. . . START(マッチ ファイアリング. . . スタート)”の号令の前に選手が弾を発射した場合、その弾は本射として採点してはならず、さらに本射第1発目に2点の減点が科せられる。

6.11.4
2行目

選手が準備および試射時間の後に到着した場合、追加の試射時間は与えられない。

- hg) 準備および試射時間は“PREPARATION AND SIGHTING TIME. . . START(プレパレーション アンド サイティング タイム. . . スタート)”の号令により開始される。“START(スタート)”の号令前の発射はできない。
- ih) 準備および試射時間の開始前に1発以上の弾を発射してしまった選手には、安全上の問題のある場合は、失格が科せられなければならない。安全上の問題のない場合(6.2.3.5)は、本射の1発目を0点として記録しなければならぬ。
- ji) 準備および試射時間が14分30秒を過ぎたとき、射場役員は“30 SECONDS(サーティー セコンズ)”とアナウンスしなければならない。
- kj) 準備および試射時間の終了時刻には、射場長の“END OF PREPARATION AND SIGHTING. . . STOP(エンド オブ プレパレーション アンド サイティング. . . ストップ)”の号令が発せられなければならない。その後、標的役員が本射への切換えをできるように、約30秒間の休止をとらなければならない。
- hk) “END OF PREPARATION AND SIGHTING. . . . STOP(エンド オブ プレパレーション アンド サイティング. . . . ストップ)”の号令の後、“MATCH FIRING. . . START(マッチ ファイアリング. . . スタート)”の号令の前に選手が弾を発射した場合、その弾は本射として採点してはならず、さらに本射第1発目に2点の減点が科せられる。
- l) 故障については6.13に従って処理される。用具の故障に関して追加時間は許されない。ジュリーは、故障を直して射座に戻ってきたときに追加の試射を与えることができるが、全て(追加の試射と本射の残り)の弾は当初に許されている時間内に撃ち終わらせなければならない。

6.11.4
2行目

選手が準備および試射時間の後に到着した場合、追加の試射時間は与えられないが、試射は許される。

6.11.9 競技手順一本選および予選ステージの挿入

6.11.9.1 10mエアライフルおよび10mエアピストルの男子および女子種目

種目の種類	個人戦
種目の名前	10mエアライフル男子 10mエアライフル少年男子 10mエアライフル女子 10mエアライフル少年女子 10mエアピストル男子 10mエアピストル少年男子 10mエアピストル女子 10mエアピストル少年女子
射群数	参加人数により1射群以上
射場	10m屋内射場が全ての射群において使用されなければならない。
標的	全射群において電子標的
採点	エアライフル: 小数点採点 エアピストル: 整数採点 本選の成績はファイナルへ持ちこされない

本選手順	各射群とも公開された開始時刻の25分前に選手の射座入りが行われる
準備および試射時間	射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
本射弾数および制限時間	弾数無制限の試射の撃てる15分間
射群数	60発 1時間15分(75分)
射群間隔	理想的には、全参加選手を1射群で収めるべきであるが、参加選手数が射場の使用できる射座数を超えた場合は、抽選により、選手を2射群以上に分けなければならない(6.6.6.h) 本選が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備および必要ならば標的枠の交換のために、15分間とらなければならない
ファイナル進出人数	全参加選手の成績上位8名がファイナルに進出する 同点の順位決定は6.15により決められる

6.11.9.2 50mライフル三姿勢の男子および女子種目

種目の種類	個人戦
種目の名前	50mライフル三姿勢男子 50mライフル三姿勢少年男子 50mライフル三姿勢女子 50mライフル三姿勢少年女子
射群数	参加人数により1射群以上
射場	50m屋外射場が全ての射群において使用されなければならない。
標的	全射群において電子標的
採点	整数採点
本選手順	各射群とも公開された開始時刻の25分前に選手の射座入りが行われる
準備および試射時間	射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
本射弾数および制限時間	弾数無制限の試射の撃てる15分間
射群数	各姿勢20発 膝射一伏射一立射の順で射撃 1時間30分(90分)
予選手順	参加選手数が射場の使用できる射座数を超えた場合は、予選が実施されなければならない 参加選手数が射場の使用できる射座数に十分収まる場合には、予選を行う必要はない 予選は本選ステージの実施される日の前日に行われるべきである
射座割	射座割は各射群の発表された射座割に従う 予選の射座割は以下の手順による 第1射群: 使用できる射座にランダムに配分 第2射群: 使用できる射座に、世界ランク30位以内の選手を含めて、ランダムに配分 第3射群以降: 使用できる射座にランダムに配分
射群間隔	射群が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備のために、30分間とらなければならない 選手の射座入りは第1射群と同様に行われる

本選進出者数	予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない 各射群からの予選通過人数は、代表者会議(テクニカルミーティング)で発表されなければならない 予選通過最大人数は会場の使用可能射座数による 予選通過最少人数は12名 各射群の予選通過者数は次の計算式によって計算される 使用可能な射座数÷射座割掲載参加者総数×各射群の射座割掲載参加者数=予選通過者数 (例)60射座で101人参加の場合 第1射群:54名→ $32.08(60 \div 101 \times 54) = 32$ 名予選通過 第2射群:47名→ $27.92(60 \div 101 \times 47) = 28$ 名予選通過 3射群以上ある場合も同様
計算式	

6.11.9.3 50mライフル伏射の男子および女子種目

種目の種類	個人戦
種目の様式	参加選手数が射場の使用可能射座数を超えない限り、1射群で行われる
順位決定	ファイナルは行わない 本選の結果順位によってメダルが授与される
種目の名前	50mライフル伏射男子 50mライフル伏射少年男子 50mライフル伏射女子 50mライフル伏射少年女子
射群数	参加人数により1射群以上
射場	50m屋外射場が全ての射群において使用されなければならない
標的	全射群において電子標的
採点	小数採点
準備および試射時間	各射群とも公開された開始時刻の25分前に選手の射座入りが行われる 射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない 弾数無制限の試射の撃てる15分間
本射弾数および制限時間	60発 50分
射群数	参加選手数が射場の使用できる射座数を超えた場合は、予選が実施されなければならない
予選手順	射座割は各射群の発表された射座割に従う
射座割	予選の射座割は以下の手順による 第1射群:使用できる射座にランダムに配分 第2射群:使用できる射座にランダムに配分 第3射群以降:使用できる射座にランダムに配分
射群間隔	射群が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備のために、30分間とらなければならない 選手の射座入りは第1射群と同様に行われる

本選進出者数	<p>予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない</p> <p>各射群からの予選通過人数は、代表者会議(テクニカルミーティング)で発表されなければならない</p> <p>予選通過最大人数は会場の使用可能射座数による</p> <p>予選通過最少人数は12名</p> <p>各射群の予選通過者数は50m三姿勢種目で用いたのと同じ計算式によって計算される</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6.11.9.4 300mライフル伏射の男子および女子種目
この種目は、以下の点を除き、50mライフル伏射種目と同様に行われる。

射場	300m室外射場が全ての射群において使用されなければならない
採点	整数採点
本射弾数および制限時間	
電子標的	60発 50分
紙標的(監的壕使用または標的交換機)	60発 1時間15分(75分)

6.11.9.5 300mスタンダードライフルの男子および女子種目
この種目は、以下の点を除き、50mライフル三姿勢種目と同様に行われ

射場	300m室外射場が全ての射群において使用されなければならない
本射弾数および制限時間	
電子標的	
紙標的(監的壕使用または標的交換機)	各姿勢20発 1時間45分(105分) 各姿勢20発 2時間15分(135分)

6.11.9.6 25mラピッドファイアピistol男子種目

種目の種類	個人戦
種目の名前	25mラピッドファイアピistol男子 25mラピッドファイアピistol少年男子
ステージの数	2ステージ
射群数	参加人数により1射群以上
射場	25m屋外射場が全ての射群において使用されるべきである
標的	全射群において電子標的
採点	整数採点

本選手順	各射群とも公開された開始時刻の13分前に選手の射座入りが行われる
準備時間	射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
試射時間	両ステージとも3分の準備時間
競技過程	両ステージとも準備時間後8秒射1回の試射シリーズ 各ステージ30発 各ステージは8秒射5発シリーズ2回、6秒射5発シリーズ2回、4秒射5発シリーズ2回で構成される (各シリーズ各標的に1発ずつ撃ち込む)
射群間	第2ステージが開始される前に参加全選手が第1ステージを撃ち終わっていないといけない 本選が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備および必要ならば標的枠の交換のために、15分間とらなければならない
ファイナル出場者数	本選成績上位6名がファイナルに進出する
同点の場合	同点の順位決定は6.15.1により決定される

6.11.9.7 25mピストル女子種目 / 25mセンターファイアピストル種目

種目の種類	個人戦
種目の名前	25mピストル女子 25mピストル少年女子 25mピストル少年男子 25mセンターファイアピストル男子
ステージの数	2ステージ(精密射撃ステージ、速射ステージ)
射群数	参加人数により1射群以上
射場	25m屋外射場が全ての射群において使用されるべきである
標的	全射群において電子標的
採点	整数採点
本選手順	各射群とも公開された開始時刻の13分前に選手の射座入りが行われる
準備時間	射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
試射時間	精密射撃、速射の両ステージとも3分の準備時間
競技過程	両ステージとも1回の試射シリーズ5発 精密射撃ステージ30発と速射ステージ30発 速射ステージが開始される前に参加全選手が精密射撃ステージを撃ち終わっていないといけない
射群間	本選が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備および必要ならば標的枠の交換のために、15分間とらなければならない
ファイナル出場者数	本選成績上位8名がファイナルに進出する(25mピストル女子種目、25mピストル少年女子種目)
同点の場合	同点の順位決定は6.15.1により決定される

6.11.9.8 50mピストル種目

種目の様式	参加選手数が射場の使用可能射座数を超えない限り、1射群で行われる
順位決定	ファイナルは行わない 本選の結果順位によってメダルが授与される
種目の名前	50mピストル男子 50mピストル少年男子
射群数	参加人数により1射群以上
射場	50m屋外射場が全ての射群において使用されるべきである
標的	全射群において電子標的
採点	整数採点インナーテン付
予選／本選手順	各射群とも公開された開始時刻の25分前に選手の射座入りが行われる 射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
準備時間および試射時間	弾数無制限の試射の撃てる15分間
競技過程	60発 1時間30分
射群数	参加選手数が射場の使用可能射座数を超えた場合、2射群以上の予選射群を行う必要がある
予選手順	射座割は各射群の発表された射座割に従う
射座割	予選射群の射座割は6.6.6.1に従い作成される
射群間	本選が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)は、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備および必要ならば標的枠の交換のために、30分間とらなければならない
本選進出者数	予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない 各射群からの予選通過人数は、代表者会議(テクニカルミーティング)で発表されなければならない 予選通過最大人数は会場の使用可能射座数による
同点の場合	同点の順位決定は6.15.1により決定される
6.11.9.9 25mスタンダードピストル種目	
種目の種類	個人戦
種目の名前	25mスタンダードピストル男子 25mスタンダードピストル少年男子
ステージの数	3ステージ
射群数	参加人数により1射群以上
射場	25m屋外射場が全ての射群において使用されるべきである
標的	全射群において電子標的
採点	整数採点

本選手順	各射群とも公開された開始時刻の13分前に選手の射座入りが行われる
準備時間	射場役員による選手チェックは準備および試射時間の始まる前に終わらなければならない
試射時間	3分の準備時間
競技過程	準備時間後150秒射1回の試射シリーズ 各ステージ20発(合計60発)
射群間	第1ステージは150秒射5発シリーズ4回 第2ステージは20秒射5発シリーズ4回 第3ステージは10秒射5発シリーズ4回で構成される 本選が2射群以上ある場合、射群間隔(次射群の選手入場前)には、用具の片付けやRTSジュリーによる標的の準備および必要ならば標的枠の交換のために、15分間とらなければならない
同点の場合	同点の順位決定は6.15.1により決定される

6.11.10	団体戦	6.11.10	団体戦
6.11.10.1	通則	6.11.10.1	通則
6.11.10.2	団体(チーム)	6.11.10.2	団体(チーム) 同じ国の同じ性別の3人の選手から成る。
6.11.10.3		6.11.10.3	全ての団体戦の種目は本選のみとし、ファイナルは行わない。
6.11.10.4		6.11.10.4	全ての場面において電子標的が使用されなければならない。
6.11.10.5		6.11.10.5	団体の得点は団体を構成する3人の選手の個人戦の予選/本選の得点の合計
6.11.10.6		6.11.10.6	全選手が競技に参加していなければならない。RPOの選手は団体選手にはなれない。
6.11.10.7		6.11.10.7	その種目で予選が実施された場合、団体得点は予選の得点に依るものとする。
6.11.10.8		6.11.10.8	次のステージへの進出のかかった同点は、GTRに従って、決定される。
6.11.10.9		6.11.10.9	GTRはこれらのルールが言及していない事柄についても適用される。
6.11.10.10		6.11.10.10	ジュリーは各種目における想定外や異論のある事柄についてもGTRに従って判断をする。
6.11.10.11		6.11.10.11	どのような罰則もISSFルールに則って科せられる。
6.12.5.1 1行目～ 2行目	全ての種目において、言葉によらないコーチングは許される。50mライフル3姿勢のファイナルにおいては～	6.12.5.1 1行目～ 2行目	全ての種目において、言葉によらないコーチングは許される。 文字で書かれたものは言葉によるものではない。 50mライフル3姿勢のファイナルにおいては～
6.12.6.2	ISSFルールに違反したり射場役員やジュリーの指示に違反した場合、ジュリー団またはジュリーは次のようなペナルティを選手に科すことができる。	6.12.6.2	ISSFルールに違反したり射場役員やジュリーの指示に違反した場合、ジュリー団またはジュリーは次のようなペナルティを選手に科すことができる。 ショットガン種目におけるルール違反に対するペナルティは、9.16に従い、ジュリー、主任レフリーおよびレフリーによって科すことができる。
6.12.6.2.a	警告(イエローカード): 警告はイエロー・カードを提示し、警告であることを選手がはっきりと認識できるような方法で行われなければならない。しかしながら、この警告を与える前に何らかのペナルティ(注意など)を与えておく必要はない。警告は射場事故報告書に記録され、個票に記入されなければならない。警告は個人のジュリーが与えることができる。	6.12.6.2.a	警告(イエローカード): 警告はイエロー・カードを提示し、警告であることを選手がはっきりと認識できるような方法で行われなければならない。しかしながら、この警告を与える前に何らかのペナルティ(注意など)を与えておく必要はない。警告は射場事故報告書に記録され、個票に記入されなければならない。警告は個人のジュリーが与えることができる。 与えられた警告は更なる違反に対して繰り越されなければならない。

6.12.6.2.b 減点(グリーンカード): 得点からの減点は、少なくとも2名のジュリーにより、減点と書かれたグリーンカードを提示することで行われる。減点は射場事故報告書に記録され、プリンター用紙に印が付けられ、個票に記入されなければならない。減点は個人のジュリーが与えることができる。

6.12.6.2.c 失格(レッドカード)(DSQ): 競技後検査を合格できなかった選手に違反した選手は失格(DSQ)とされなければならない(6.7.9.1)。その他の理由による失格はジュリーの多数決によって裁定された場合のみ科すことができる。選手の失格はジュリーによって失格と書かれたレッドカードを提示することで行われる。その種目のどの場面(予選、本選またはファイナル)においても失格となった選手は、その種目の全ての成績が抹消され、成績表の最下位に、失格となった理由を付けて表示される。

6.12.6.2.d 非スポーツマン行為(DQB): アンチドーピングルール違反、安全に関する深刻な違反または競技役員または他の選手に対する暴力行為(6.12.6.4)でジュリーの多数決により失格となった選手については、その選手権大会におけるその選手の参加した全種目の成績が抹消され、DQBと表示されなければならない。

6.12.6.2.e
6.12.6.2.f
6.12.6.2.g

6.14.4.i ISSF基準の種目順に並べられた最終成績表: 1) 男子の10m、50m、300mライフル種目、2) 男子の10m、25m、50mピストル種目、3) 男子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、4) 男子の10m、50mランニングターゲット種目、5) 女子の10m、50m、300mライフル種目、6) 女子の10m、25mピストル種目、7) 女子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、8) 女子の10mランニングターゲット種目

6.14.4.2の表

6行目	QR	New Qualification Record (本選世界新記録)
8行目	EQR	Equaled Qualification Record (本選世界タイ記録)
10行目	QRJ	New Qualification Record Junior (ジュニア本選世界新記録)
12行目	EQRJ	Equaled Qualification Record Junior (ジュニア本選世界タイ記録)

6.12.6.2.b 減点(グリーンカード): 得点からの減点は、~~少なくとも2名1名~~のジュリーにより、減点と書かれたグリーンカードを提示することで行われる。~~多くの場合、2点の減点が科されるが、時間外発射やファイナルにおける空撃ちのような例外的な事項では関連したルールが示されている。減点は射場事故報告書に記録され、プリンター用紙に印が付けられ、個票に記入され、そしてRTSジュリーに即座に報告されなければならない。減点に際しそれに先立つ警告(イエローカード)を必要としない。減点は個人のジュリーが与えることができる。~~

6.12.6.2.c 失格(レッドカード)(DSQ): 競技後検査(6.7.9.1)を合格できなかった選手またはショットガンルールの9.4.1.1または9.4.3.2に違反した選手は失格(DSQ)とされなければならない(~~6.7.9.1~~)。その他の理由による失格はジュリーの多数決によって裁定された場合のみ科すことができる。選手の失格はジュリーによって失格と書かれたレッドカードを提示することで行われる。その種目のどの場面(予選、本選またはファイナル)においても失格となった選手は、その種目の全ての成績が抹消され、成績表の最下位に、失格となった理由を付けて表示される。

6.12.6.2.d 非スポーツマン行為(DQB): ~~アンチドーピングルール違反~~、安全に関する深刻な違反または競技役員または他の選手に対する暴力行為(6.12.6.4)でジュリーの多数決により失格となった選手については、その選手権大会におけるその選手の参加した全種目の成績が抹消され、DQBと表示されなければならない。

6.12.6.2.e を挿入
アンチドーピングルール違反(AD-DSQ): アンチドーピングルール違反で失格となった選手については、その選手権大会におけるその選手の参加した全種目の成績が抹消され、AD-DSQと表示されなければならない。

6.12.6.2.ef
6.12.6.2.fg
6.12.6.2.gh
6.13.2.2.f を挿入

電気トリガーを使用していた場合の電池切れ

6.14.4.i ISSF基準の種目順に並べられた最終成績表: 1) 男子の10m、50m、300mライフル種目、2) 男子の10m、25m、50mピストル種目、3) 男子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、4) 男子の10m、50mランニングターゲット種目、5) ~~男子の団体種目~~、6) 女子の10m、50m、300mライフル種目、~~67~~ 女子の10m、25mピストル種目、~~78~~ 女子のトラップ、スキート、ダブルトラップ種目、~~89~~ 女子の10mランニングターゲット種目、10) ~~女子の団体種目~~、11) 10m、25m、50m、300m、トラップ、スキートのミックス種目

6.14.4.2の表

6行目	QWR	New Qualification World Record (本選世界新記録)
8行目	EWQR	Equaled Qualification World Record (本選世界タイ記録)
10行目	QWRJ	New Qualification World Record Junior (ジュニア本選世界新記録)
12行目	EQWRJ	Equaled Qualification World Record Junior (ジュニア本選世界タイ記録)

下に3行追加

MQS	Minimum Qualification Score (オリンピック大会参加最少得点)
RPO	Ranking Point Only (ランキングポイントのみ)
OOC	Out Of Competition (オープン参加)

6.14.9.1	オリンピック種目の世界記録(WR)はその種目で行われるファイナルの成績のみをもって世界記録とする。非オリンピック種目の世界記録(WR)はその種目の合計点をもって世界記録とする。	6.14.9.1	オリンピック種目の世界記録(WR)はその種目で行われるファイナルの成績のみをもって世界記録とする。非オリンピック種目の世界記録(WR)はその種目の合計点をもって世界記録とする。
6.14.9.2		6.14.9.21	
6.14.9.3	オリンピック種目のジュニア世界記録(WRJ)はその種目で行われるファイナルの成績のみをもってジュニア世界記録とする。非オリンピック種目のジュニア世界記録(WRJ)はその種目の合計点をもってジュニア世界記録とする。	6.14.9.32	オリンピック種目のジュニア世界記録(WRJ)はその種目で行われるファイナルの成績のみをもってジュニア世界記録とする。非オリンピック種目のジュニア世界記録(WRJ)はその種目の合計点をもってジュニア世界記録とする。
6.14.9.4		6.14.9.43	
6.14.9.5		6.14.9.54	
6.17.1	ファイナル競技の全般手順	6.17.1	ファイナル競技の全般手順 これらの手順は10m、25mおよび50mのライフルおよびピストルの個人種目のすべてのファイナルに用いられる。各種目の手順については、以下の条文中に記載されている。 6.17.2 - 10mエアライフルおよび10mエアピストルの男子および女子種目 6.17.3 - 50mライフル三姿勢の男子および女子種目 6.17.4 - 25mラピッドファイアピストル男子種目 6.17.5 - 25mピストル女子種目 6.18 - 10mエアライフルおよび10mエアピストルのミックス種目 ショットガン種目の手順については6.19に示されている。
6.17.1.1	ファイナルへの進出 その種目のファイナル進出者を決めるために、その種目に出場するすべての選手が本選(GR3.3.2.3および3.3.4)を行う。本選における上位6名が進出する25mラピッドファイアピストル男子を除き、本選における上位8名がファイナルへ進出する。	6.17.1.1	ファイナルへの進出 その種目のファイナル進出者を決めるために、その種目に出場するすべての選手が本選(GR3.3.2.35および3.3.46.5)を行う。本選における上位6名が進出する25mラピッドファイアピストル男子を除き、本選における上位8名がファイナルへ進出する。
6.17.1.2	自動的に行われるくじによって割り当てられる。 の2行目	6.17.1.2	自動的に行われるくじ無作為に割り当てられる。 の2行目
		6.17.1.3	ファイナル中の警備体制は、待機場所に置かれている全ての用具および選手の所持品の安全を確保するものとすべきである。 の最後に追加
6.17.1.9	ファイナル射場の備品 ファイナル射場には競技役員、選手、コーチ、観客のために結果順位が表示される電光掲示板とファイナリストの見ることのできるカウントダウン時計および音響システムが設備されてなければならない。もしカウントダウン時計をすべてのファイナリストが見ることができなければ、全ファイナリストのモニターに制御時間が明示されなければならない。ジュリー、射場役員、コーチと脱落した選手のために椅子が用意されていなければならない。	6.17.1.9	ファイナル射場の備品 ファイナル射場には競技役員、選手、コーチ、観客のために結果順位が表示される電光掲示板とファイナリストの見ることのできるカウントダウン時計および音響システムが設備されてなければならない。もしカウントダウン時計をすべてのファイナリストが見ることができなければ、全ファイナリストのモニターに制御時間が明示されなければならない。ジュリー、射場役員、コーチと脱落して射座から引き揚げる選手のために椅子が用意されていなければならない。テーブルまたはベンチが、ファイナル射場への入場前または射座から引き揚げる際に選手の用具を置いておくことができるように、用意されてなければならない。

- 6.17.1.13
- b プレパレーションエリアでの出頭報告の後、ファイナル開始時刻の18分前（25mピストル種目の場合は15分前）には、ファイナリストまたはコーチは選手の銃や用具を自分の射座に置くことが許されなければならない。銃ケースや用具バッグはFOPに残して置いてはならない。その後、選手およびコーチは、ウォームアップや準備のために射線に呼ばれるまで、プレパレーションエリアに戻っておかななければならない。
- c ライフルのファイナリストがプレパレーションエリアから射線に呼ばれたとき、ファイナリストはジャケットやズボンのボタンやファスナーを閉じた状態の完全な服装で射線まで歩いていかななければならない。
- d ファイナリストは、射～
- e ファイナルにおいて、空～
- f 射場長の”LOAD(ロード)”または～
- g ファイナルにおいて、据銃および～
- h 10m、25mまたは～
- i ファイナリストが～
- j 25mラピッドファイアピストル～
- k ファイナリストが1シリーズまたは1発の時間中に超過弾を撃った場合、その超過弾は無効とされ、さらに直前の正常弾に2点の減点が科せられる。
- l シュートオフや故障に～
- n ファイナルの間、～

- 6.17.1.13
の挿入
- ファイナルにおける抗議
- a) ファイナルにおける抗議は口頭で即時に行わなければならない。抗議は選手またはその選手のコーチが挙手することによって行われる。
- b) ファイナルにおける抗議では抗議料は徴収されない。
- c) どのような抗議に対してもファイナル抗議ジュリー(3.12.3.7、6.16.6および6.17.1.10.d)が即座に裁定しなければならない。ファイナル抗議ジュリーの裁定は最終であり、上訴することはできない。
- d) ファイナルにおける抗議が認められなかった場合、2点の減点が最終弾の得点または2ヒットの減点が最終シリーズの得点に科せられなければならない。

- 6.17.1.13
14
- b **出頭および用具のセットアップ**：プレパレーションエリアでの出頭報告の後、ファイナル開始時刻の~~18~~**20**分前（25mピストル種目の場合は15分前）には、ファイナリストまたはコーチは選手の銃や用具を自分の射座に置くことが許されなければならない。銃ケースや用具バッグはFOPに残して置いてはならない。**この時には照準練習は許可されない**。その後、選手**および**コーチは、ウォームアップや準備のために射線に呼ばれるまで、プレパレーションエリアに戻っておかななければならない。**コーチはFOP内にある自席に座る。**
- c **選手の入場**：射場役員は、開始時刻の12分前に、ファイナル射場の近くに選手が**一列に並ぶように指示を出す**。ライフルのファイナリストがプレパレーションエリアから射線に呼ばれたとき、ファイナリストはジャケットやズボンのボタンやファスナーを閉じた状態の完全な服装で射線まで歩いていかななければならない。**射場長は“ATHLETES TO THE LINE (アスリートトゥーザライン)”と号令をかける。**
- d **セーフティフラッグ**：ファイナリストは、射～
- e **空撃ち**：ファイナルにおいて、空～
- f **早すぎる装填**：射場長の“LOAD(ロード)”または～
- g **据銃および照準練習**：ファイナルにおいて据銃および～
- h **スタートまたはロードの号令前の発射**：10m、25mまたは～
- i **ストップの号令後の発射**：ファイナリストが～
- j **25mピストル時間前発射**：25mラピッドファイアピストル～
- k **超過弾**：ファイナリストが1シリーズまたは1発の時間中に超過弾を撃った場合、その超過弾は無効とされ、さらに直前の正常弾に2点の減点**またはそのシリーズに2ヒットの減点**が科せられる。
- l **不注意の発射**：シュートオフや故障に～
- n **コーチング**：ファイナルの間、～

6.17.1.14 **メダリストの紹介** 射場長が“**RESULTS ARE FINAL** (リザルツ アー ファイナル)”と宣言した後、ジュリーは三人のメダリストをFOPに～

.oの挿入

間違った号令：ファイナル射場長が、射群の正しい開始を誤ったり全ての選手が発射を終える前に**ストップ**をかけるなど、間違った号令を発した場合、以下の手順を行わなければならない。
ファイナル射場長が1発シリーズの中で誤った号令をかけた場合、**すでに発射されている弾は探点されなければならないが**、撃てなかった選手の再射を行うため、射場長は時計をリセットし新たな号令をかけなければならない。

ファイナル射場長が複数発射するシリーズ中に誤った号令をかけた場合、**すでに発射されている弾は探点されなければならないが**、担当ジュリーは「ストップ」の号令がかかった時に残り時間がどれだけあったかを確定しその時間に60秒を加えた時間で、撃ち残しのある選手を完射させるためそのシリーズを再開するように、射場長に指示しなければならない。もしその際に、選手がその手順の誤解や不注意によって規定弾数より多くの弾を発射した場合、その超過弾は罰点としてペナルティを科せられる。

~~6.17.1.14~~
を p)に
変更

メダリストの紹介：射場長が“**RESULTS ARE FINAL** (リザルツ アー ファイナル)”と宣言した後、担当ジュリーは三人のメダリストをFOPに～

.qの挿入

故障：ファイナル全体を通じて、各選手1回の故障申告が許される。選手には、不必要な遅延なくファイナルが継続できるように、故障した銃器を直すかまたは交換するための1分間を与えられる。

.rの挿入

音楽：ファイナルではテクニカルデレゲートによって承認された音楽が流されてなければならない。ファイナルにおける観客の熱狂的な応援は奨励され、推奨される。

.sの挿入

罰則：どのようなペナルティもISSFルールに従って科せられる。

.tの挿入

想定外の事態：上記で触れられていない事項に対してもGTRは適用される。ジュリーは各種目のGTRに従って、想定外や異論のある事項についても裁定を行う。

.uの挿入

国別標示(ドレスコード)：選手はISSFドレスコードに沿った射撃服装を身に付けなければならない(6.22)。ライフル選手は、次に示すように射撃ジャケットに国別標示をつけなければならない。国旗またはIOCで決められた3文字の国名略号を観客に面する側のポケットか背中の中の低い部分につける。

6.17.2.c 用具準備時間(18分前) 選手および選手のコーチは、少なくとも開始時刻の18分前には、銃や用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。銃ケースや用具の収納箱はFOPに置いておくことはできない。

6.17.2.c

用具準備時間(~~18~~20分前) 選手および選手のコーチは、少なくとも開始時刻の~~18~~20分前には、銃や用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。

			6.17.3.aの末尾に追加	射場備品	選手には予備の弾薬を含む姿勢変換に伴う全ての用具を入れておくための箱が提供される。この箱は射座の後方に置いておかなければならない。 姿勢変換後射座に戻る前に、選手は不必要な用具を射座内に散らからないようにこの箱に入れなければならない。もし選手が不注意に用具をそのまま残して次の姿勢に入った場合、射場役員は、本射に入る前に、用具を箱に入れ直すことを個別に支援することができる。 射撃マットは、使う使わないにかかわらず、各選手に提供される。そのマットは各射座の後方に置かれてなければならない。選手が立射に入った時には、射場役員は使わなくなったマットを整頓するかまたは回収する事を支
6.17.3.c	用具準備時間(18分前)	選手および選手のコーチは、少なくとも開始時刻の18分前には、ライフルや用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。姿勢の変更に伴う銃の付属品や用具は射座内に置いておくことのできる1個の箱の中に入れておかなければならない。	6.17.3.c	用具準備時間(18 20分前)	選手および選手のコーチは、少なくとも開始時刻の 18 20分前には、ライフルや用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。姿勢の変更に伴う銃の付属品や用具は射座内に置いておくことのできる1個の箱の中に入れておかなければならない。
6.17.3.dの最終行	準備および試射時間 膝射 (13分前)	また、観客や選手紹介を撮影しているTVカメラに顔を向けてほしい。	6.17.3.dの最終行	準備および試射時間 膝射 (13分前)	また、観客や選手紹介を撮影しているTVカメラに顔を向けて ほしい なければならない。
6.17.3.e	ファイナリストの紹介 (5分30秒前)	ファイナリストのライフルのチェックの後、アナウンサーはファイナリスト、射場長、担当ジュリーをルール6.17.1.12に従って紹介する。ファイナリスト全員の紹介が終わるまで、ライフルは肩からはずしたままにしておかなければならない。	6.17.3.e	ファイナリストの紹介 (5分30秒前)	ファイナリストのライフルのチェックの後、アナウンサーはファイナリスト、射場長、担当ジュリーをルール6.17.1.12に従って紹介する。ファイナリスト全員の紹介が終わるま まで 、CROと担当ジュリーの紹介が終わるまでライフルは肩からはずしたままにしておかなければならない。
			6.17.3.fの末尾に追加	膝射 3×5発 制限時間:200秒 各シリーズ	第3シリーズを完了した選手は、ライフルを肩から外してもよいが、膝射の姿勢で待機しなければならない。そして姿勢切換えの号令がかかるまで、ライフルの部品を取り外したり調整したりしてはならない。
6.17.3.m	ファイナルの完了	残った2名のファイナリストが最終弾を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“STOP. . . UNLOAD (ストップ. . . アンロード)”と号令し、そして“RESULTS ARE FINAL (リザルト アー ファイナル)”と宣言する。ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。	6.17.3.m	ファイナルの完了	残った2名のファイナリストが最終弾を撃ち終わった後、同点も抗議もなければ、射場長は“STOP. . . UNLOAD (ストップ. . . アンロード)”と号令し、そして“RESULTS ARE FINAL (リザルト アー ファイナル)”と宣言する。 担当ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14.pに従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。

6.17.4.c	採点	ファイナルでの採点はヒットオアミススコアであり、各ヒットは1ポイント、各ミスは0ポイントとして数えられる。ヒットゾーンの大きさは25mラピッドファイアピistol標的の9.7点の範囲となる。ファイナルにおける得点の合計(合計ヒット数)により順位が決められる。同点の場合はシュートオフの成績によって順位が決定される。	6.17.4.c	採点	ファイナルでの採点はヒットオアミススコアであり、各ヒットは1ポイント、各ミスは0ポイントとして数えられる。ヒットゾーンの大きさは25mラピッドファイアピistol標的の9.7点の範囲となる。ファイナルにおける得点の合計(合計ヒット数)により順位が決められる。同点の場合はシュートオフの成績によって順位が決定される。 本射第一発目の前に起こった反則に対する減点は本射第一シリーズの成績に科せられる。その他の時点での反則に対する減点はその反則の起こったシリーズの得点に科せられる。
				減点	
6.17.4.d	出頭時刻 30分前と15分前	選手は開始時刻の30分前に用具と競技用の服装を携えて出頭しなければならない。ジュリーは選手が出頭したら可能な限り迅速に用具のチェックを完了させなければならない。選手および選手のコーチは、開始時刻の少なくとも15分前には、ファイナルを行うに十分な弾薬を含む用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。選手の用具には故障したピistolに換えて使用する予備銃(セフティフラッグが挿入されていない)も含まれる。	6.17.4.d	出頭時刻 30分前と 15 20 分前	選手は開始時刻の30分前に用具と競技用の服装を携えて出頭しなければならない。ジュリーは選手が出頭したら可能な限り迅速に用具のチェックを完了させなければならない。選手および選手のコーチは、開始時刻の少なくとも 15 20 分前には、ファイナルを行うに十分な弾薬を含む用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。選手の用具には故障したピistolに換えて使用する予備銃(セフティフラッグが挿入されていない)も含まれる。
6.17.5.c	採点	ファイナルでの採点はヒットオアミススコアであり、各ヒットは1ポイント、各ミスは0ポイントとして数えられる。ヒットゾーンの大きさは25mラピッドファイアピistol標的の10.2点の範囲となる。ファイナルにおける得点の合計(合計ヒット数)により順位が決められる。同点の場合はシュートオフの成績によって順位が決定される。	6.17.5.c	採点	ファイナルでの採点はヒットオアミススコアであり、各ヒットは1ポイント、各ミスは0ポイントとして数えられる。ヒットゾーンの大きさは25mラピッドファイアピistol標的の10.2点の範囲となる。ファイナルにおける得点の合計(合計ヒット数)により順位が決められる。同点の場合はシュートオフの成績によって順位が決定される。 本射第一発目の前に起こった反則に対する減点は本射第一シリーズの成績に科せられる。その他の時点での反則に対する減点はその反則の起こったシリーズの得点に科せられる。
				減点	
6.17.5.d	出頭時刻 30分前と15分前	選手は開始時刻の30分前に用具と競技用の服装を携えて出頭しなければならない。ジュリーは選手が出頭したら可能な限り迅速に用具のチェックを完了させなければならない。選手および選手のコーチは、開始時刻の少なくとも15分前には、ファイナルを行うに十分な弾薬を含む用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。選手の用具には故障したピistolに換えて使用する予備銃(セフティフラッグが挿入されていない)も含まれる。	6.17.5.d	出頭時刻 30分前と 15 20 分前	選手は開始時刻の30分前に用具と競技用の服装を携えて出頭しなければならない。ジュリーは選手が出頭したら可能な限り迅速に用具のチェックを完了させなければならない。選手および選手のコーチは、開始時刻の少なくとも 15 20 分前には、ファイナルを行うに十分な弾薬を含む用具を射座に持ち込むことを許可されなければならない。選手の用具には故障したピistolに換えて使用する予備銃(セフティフラッグが挿入されていない)も含まれる。

6.17.5.k	ファイナルの完了	第10シリーズの後、同点がなければ、射場長は“STOP. . . UNLOAD(ストップ アンロード)”の号令後、“RESULTS ARE FINAL(リザルツアー ファイナル)”と宣言する。ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14に従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。	6.17.5.kj	ファイナルの完了	第10シリーズの後、同点がなければ、射場長は“STOP. . . UNLOAD(ストップ アンロード)”の号令後、“RESULTS ARE FINAL(リザルツアー ファイナル)”と宣言する。ジュリーはメダリストをFOPに集合させ、アナウンサーは即座に、6.17.1.14.pに従って、銅、銀、金メダリストをアナウンスする。
6.17.5.l			6.17.5.kk		
6.17.5.m			6.17.5.mll		
6.17.6	ファイナルにおける抗議		6.17.6	ファイナルにおける抗議	
	a) ファイナル中の抗議は口頭で即座に行われなければならない。抗議は選手またはコーチの挙手によって行われる。			a) ファイナル中の抗議は口頭で即座に行われなければならない。抗議は選手またはコーチの挙手によって行われる。	
	b) ファイナルでは抗議料は課せられない。			b) ファイナルでは抗議料は課せられない。	
	c) すべての抗議はファイナル抗議ジュリーによって即断されなければならない(G R3. 12. 3. 7、6. 16. 6および6. 17. 1. 10. d)。ファイナル抗議ジュリーの裁定は最終であり、上訴はできない。			c) すべての抗議はファイナル抗議ジュリーによって即断されなければならない(G R3. 12. 3. 7、6. 16. 6および6. 17. 1. 10. d)。ファイナル抗議ジュリーの裁定は最終であり、上訴はできない。	
	d) ファイナルにおける抗議が採用されない場合、2点または2ポイントの減点が最終弾または最終シリーズに科せられなければならない。			d) ファイナルにおける抗議が採用されない場合、2点または2ポイントの減点が最終弾または最終シリーズに科せられなければならない。	
6.17.7	表彰式		6.17.76	表彰式	
	金、銀、銅メダリストを讃える表彰式は各ファイナル後できるだけ迅速に、G R3. 8. 5に従って、行われなければならない。表彰式の進行のISSF基準は、ISSF本部に用意されている、 ファイナル射場と表彰式の認定ガイドライン に示されている。			金、銀、銅メダリストを讃える表彰式は各ファイナル後できるだけ迅速に、G R3. 9. 6に従って、行われなければならない。表彰式の進行のISSF基準は、ISSF本部に用意されている、ファイナル射場と表彰式の認定ガイドラインに示されている。	
6.18	ライフルおよびピストルのミックスチーム種目		6.18	ライフルおよびピストルのミックス チーム 種目	
6.18.1.4	チームの申込み		6.18.1.4	チームの申込み	
	a) ISSF申し込み規則により、各国は選手権大会ごとに最大2チームの申し込みができる。チームメンバーはそのミックスチーム種目の競技日の2日前の日の12時間前までにその選手権大会に申し込んでいる別の選手と変更することができる。			a) ISSF申し込み規則により、各国は選手権大会ごとに最大2チームの申し込みができる。チームメンバーはそのミックス チーム 種目の競技日の2日前の日の 12時間前 正午12時まで にその選手権大会に申し込んでいる別の選手と変更することができる。 この期限までにチームメンバーの登録確認ができなかったチームは、メンバーが参加選手の内から無作為に選ばれ、その後の変更はできないものとする。	
	b) 参加料は1チーム170ユーロである(G R3. 7. 4. 18)。			b) 参加料は1チーム170ユーロである(G R 3. 7. 4. 18. 4. 2)。	
6.18.15	競技方式		6.18.1.5	競技方式	
	10mミックスチーム種目は2つのステージで行われる。			10mミックス チーム 種目は2つのステージで行われる。	
	a) 本選(2つのパート)			a) 本選	
	b) ファイナル(ブロンズメダルマッチとゴールド/シルバーメダルマッチから構成される)			b) ファイナル(ブロンズメダル マッチ の決まるステージ1 とゴールド/シルバーメダル マッチ の決まるステージ2 から構成される)	
6.18.1.6	チーム成績		6.18.1.6	チーム成績	
	ミックスチーム種目の得点と成績は2人のチームメンバーの合計点に基づく。			ミックス チーム 種目の得点と成績は2人のチームメンバーの合計点に基づく。	
6.18.1.7.b	~できるのは、コーチが選手に近づき始めてから最大30秒間となる。		6.18.1.7.b	~できるのは、コーチが選手に近づき始めてから最大 30秒 30秒1分 間となる。	
6.18.1.7.c	担当ジュリーは時間を管理し、30秒の経過を~		6.18.1.7.c	担当ジュリーは時間を管理し、 30秒 30秒1分 の経過を~	

6.18.1.9.b	ファイナルのメダルマッチにおけるESTに対する不満は6.18.4.7を参照。	6.18.1.9.b	ファイナルのメダルマッチにおけるESTに対する不満は6. 18.4.7 17. 1. 8を参照。
6.18.1.10.b	ファイナル中に生じた抗議はファイナル抗議ジュリーにより、6.17.1.10および6.17.6に従って裁定される。	6.18.1.10.b	ファイナル中に生じた抗議はファイナル抗議ジュリーにより、6. 17. 1. 10. d および6. 17. 6 1. 13に従って裁定される。
6.18.1.11	表彰式 ミックスチーム種目の表彰式は6.17.7に従って行われる。	6.18.1.11	表彰式 ミックス チーム 種目の表彰式は6. 17. 7 6に従って行われる。
6.18.2	本選 パート1	6.18.2	本選 パート1
6.18.2.1	会場 ミックスチーム種目の本選は本選射場で1つ以上の射群で実施される。	6.18.2.1	会場 ミックス チーム 種目の本選は本選射場で1つ以上の射群で実施される。
6.18.2.3.a	各本選射群において、射場長は準備および試射時間の15分前に選手を射座に入れる。	6.18.2.3.a	各本選射群において、射場長は準備および試射時間の 15 公表された開始時刻の20分前に選手を射座に入れる。
6.18.2.3.b	選手は指定された射座において、5分間の射撃用具のセッティングのための時間が許される。	6.18.2.3.b	選手は指定された射座において、 5 10分間の射撃用具のセッティングのための時間が許される。
6.18.2.3.c	選手は射場長が射座に呼び入れるまで、銃器を取り出すのみならずいかなる用具も置くことはできない。	6.18.2.3.c	選手は射場長が射座に呼び入れるまで、銃器を取り出すのみならずいかなる用具も射座に置くことはできない。
6.18.2.4.b	射場役員による競技前チェックは、準備および試射時間の始まる5分間で完了しなければならない。	6.18.2.4.b	射場役員による競技前チェックは、準備および試射時間の始まる 5 分の10分間で完了しなければならない。
6.18.2.5.a	本選パート1では、～	6.18.2.5.a	本選 パート1 では、～
6.18.2.6	得点 本選においては、10mエアライフルミックスチーム種目は小数値(6.3.3.1)の得点が使われる。10mエアピストルミックスチーム種目では整数値の得点が使われる。	6.18.2.6	得採点 本選においては、10mエアライフルミックス チーム 種目は小数値(6.3.3.1)の得点が使われる。10mエアピストルミックス チーム 種目では整数値の得点が使われる。
		6.18.2.7.c	上位4チームがファイナルへ進出する。
		6.18.2.7.d	3位と4位のチームがファイナルステージ1で争う。
		6.18.2.7.e	1位と2位のチームがファイナルステージ2で争う。
			を追加
		6.18.3	本選 パート2
			を削除
6.18.4	ファイナル(メダルマッチ) ファイナルはブロンズメダルマッチとそれに続くゴールド/シルバーメダルマッチで構成される。	6. 18. 43	ファイナル (メダルマッチ) ファイナルは ブロンズ銅 メダル マッチ の決まるステージ1とそれに続く ゴールド/シルバー 金/銀メダル マッチ の決まるステージ2で構成される。
6.18.4.1	～のミックスチーム種目の～の最初の行	6. 18. 43 . 1	～のミックス チーム 種目の～の最初の行
6.18.4.2.a	メダルマッチではBib(ゼッケン)を着用しない。	6.18. 43 .2.a	メダルマッチ ファイナルでは新たに割り当てられたB i b (ゼッケン)を着用しないする。
6.18.4.2.b	ブロンズメダルマッチの～の1行目	6.18. 43 .2.b	ブロンズメダルマッチ ファイナルステージ1の～の1行目
6.18.4.3	～射場長がブロンズメダルマッチの本射～	6.18. 43 .3	ミックス チーム 種目のファイナルは～
6.18.4.4.a	～射場長がブロンズメダルマッチの本射～の1行目	6.18. 43 .4.a	～射場長が ブロンズメダルマッチ ファイナルステージ1の本射～の1行目

- 6.18.4.4.b ~用具を持って、開始時刻の～
の2行目
- 6.18.4.4.c
- 6.18.4.4.d ブロンズメダルマッチの選手～
の1行目
- 6.18.4.4.e 各メダルマッチのチームおよびコーチは各開始時刻の～
の1行目
- 6.18.4.5.a ブロンズメダルマッチでは本選3位のチームが射座CとDに本選4位の
チームが射座FとGに割り当てられるべきである。
- 6.18.4.5.b ゴールド／シルバーメダルマッチでは本選1位のチームが射座CとDに本
選2位のチームが射座FとGに割り当てられるべきである。
- 6.18.4.5.c チームメンバーはメダルマッチにおいて射座を交換できる。交換の希望が
ある場合、ファイナルの出頭時間中にコーチがRTSジュリーにどの選手が
左側で撃ち、どの選手が右側で撃つのかを申告しなければならない。
- 6.18.4.6.a メダルマッチ(ライフルおよびピストルともに)におけるすべての発射弾の得
点は小数値の得点とする。
- 6.18.4.7.c 担当ジュリーは故障があったと思われる標的を撃っている選手にもう1発
撃つように指示しなければならない。この追加の発射弾が記録されたなら
ば、追加弾の得点を採用し、表示のなかった発射弾は無効とされる。追加
弾も表示がなかった場合、ジュリーは競技を中断し、選手を予備的に移動
させなければならない。
- 6.18.4.7.d 選手を予備的に移動させた場合、再開の準備が整ったら、全選手に弾数
無制限の2分間の試射時間が与えられる。次に射座を移動した選手が50
秒以内に本射を行い、競技は継続される。
- 6.18.4.8 入場

- 6.18.43.4.b ~用具を持って、**ファイナルステージ1**の開始時刻の～
の2行目
- 6.18.43.4.c **開始時刻の20分前よりも遅れてきた選手またはチームはファイナ
ルに参加することはできず、ファイナルステージ1では4位、ファ**
- 6.18.43.4.ed
- 6.18.43.4.d **ブロンズメダルマッチファイナルステージ1の選手～**
- 6.18.43.4.efの1 **各メダルマッチファイナルの両ステージのチームは各ファイナルステージ
1の開始時刻の～**
- 6.18.43.5.a **ブロンズメダルマッチファイナルステージ1**では本選3位のチーム
が射座**CとD**と**C**に本選4位のチームが射座FとGに割り当てら
れるべきである。
- 6.18.43.5.b **ゴールド／シルバーメダルマッチファイナルステージ2**では本選1
位のチームが射座**CとD**と**C**に本選2位のチームが射座FとGに
割り当てられるべきである。
- 6.18.43.5.c チームメンバーは**メダルマッチファイナル**において射座を交換でき
る。交換の希望がある場合、**ファイナルの出頭時間中本選成績の速
報の抗議締切時刻まで**にコーチがRTSジュリーにどの選手が左側
で撃ち、どの選手が右側で撃つのかを申告しなければならない。
- 6.18.43.6.a **メダルマッチファイナル**(ライフルおよびピストルともに)におけ
るすべての発射弾の得点は小数値の**得採**点とする。
- 6.18.43.7.c 担当ジュリーは故障があったと思われる標的を撃っている選手にも
う1発撃つように指示しなければならない。この追加の発射弾が記
録されたならば、追加弾の得点を採用し、表示のなかった発射弾は
無効とされる。追加弾も表示がなかった場合、ジュリーは競技を中
断し、選手を予備的に移動させなければならない。
- 6.18.43.7.d 選手を予備的に移動させた場合、再開の準備が整ったら、全選手に
弾数無制限の2分間の試射時間が与えられる。**次につづいて**射座を
移動した選手が50秒以内に本射を行い、競技は継続される。
- 6.18.43.8 入場

メダルマッチの開始時刻の8分前に、射場長は“ATHLETES TO THE LINE(アスリート トウ ザ ライン)”の号令によって全選手をファイナル射場に呼び寄せる。全選手は、入場後、観客に対面し、射場長の“LADIES AND GENTLEMEN, PLEASE WELCOME THE ATHLETES IN THE(10 METER AIR RIFLE/PISTOL) MIXED TEAM BRONZE/(GOLD) MEDAL MATCH (レディース アンド ジェントルマン、プリーズ ウェルカム ジ アスリーツ イン ザ(テン メーター エアライフル/ピストル)ミクスト チーム ブロンズ/(ゴールド) メダル マッチ)”のアナウンスの間、動きを止めなければならない。拍手が終わるのを待ったあと、射場長は“TAKE YOUR POSITIONS(テイク ユア ポジションズ)”の号令をかける。この後、選手は振り返り、指定された射座に真っ直ぐに向かわなければならない。

- 6.18.4.9 準備および試射時間
1分後、射場長は“THREE MINUTES PREPARATION AND SIGHTING TIME... START(スリー ミニッツ プレパレーション アンド サイティング タイム... スタート)”の号令をかける。2分30秒後、射場長は“30 SECONDS(サーティ セカンズ)”のアナウンスをする。3分後、射場長は“STOP... UNLOAD(ストップ... アンロード)”の号令をかける。

- 6.18.5 メダルマッチの手順
6.18.5.a 選手が姿勢をとった1分後に、射場長は次の号令をかける。

6.18.5.h この手順がメダルマッチが決するまで繰り返される。

- 6.18.5.1 ブロンズメダルマッチの完了
6.18.5.1.a ブロンズメダルマッチが決したらすぐに、射場長は“STOP... UNLOAD(ストップ... アンロード)”の号令をかけ、“RESULTS ARE FINAL(リザルツ アー ファイナル)”と宣言し、アナウンサーはブロンズメダルマッチの勝利チームをアナウンスする。

- 6.18.5.1.b 射場役員は銃のアクションが開けられ、セフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。

- 6.18.5.2 メダルマッチの交代

~~メダルマッチの開始時刻の8分前に、射場長は“ATHLETES TO THE LINE(アスリート トウ ザ ライン)”の号令によって全選手をファイナル射場に呼び寄せる。全選手は、入場後、観客に対面し、射場長の“LADIES AND GENTLEMEN, PLEASE WELCOME THE ATHLETES IN THE(10 METER AIR RIFLE/PISTOL) MIXED TEAM BRONZE/(GOLD) MEDAL MATCH (レディース アンド ジェントルマン、プリーズ ウェルカム ジ アスリーツ イン ザ(テン メーター エアライフル/ピストル)ミクスト チーム ブロンズ/(ゴールド) メダル マッチ)”のアナウンスの間、動きを止めなければならない。拍手が終わるのを待ったあと、射場長は“TAKE YOUR POSITIONS(テイク ユア ポジションズ)”の号令をかける。この後、選手は振り返り、指定された射座に真っ直ぐに向かわなければならない。~~

- 6.18.4.9.9 準備および試射時間
1分後、射場長は“**THREE FIVE MINUTES PREPARATION AND SIGHTING TIME... START(スリーファイブ ミニッツ プレパレーション アンド サイティング タイム... スタート)**”の号令をかける。~~2~~**4**分30秒後、射場長は“**30 SECONDS(サーティ セカンズ)**”のアナウンスをする。~~3~~**5**分後、射場長は“**STOP... UNLOAD(ストップ... アンロード)**”の号令をかける。

- 6.18.4.10 チームの紹介
を削除

- 6.18.54 **メダルマッチファイナルの手順**
6.18.54.a **選手が姿勢をとった準備および試射時間終了の**1分後に、射場長は次の号令をかける。

6.18.54.h この手順が**メダルマッチが**ファイナルの各ステージが決するまで繰り返される**す**。

- 6.18.54.1 **ブロンズメダルマッチファイナルステージ1の完了**
6.18.54.1.a **ブロンズ銅メダルマッチが決したら**すぐに、射場長は“**STOP... UNLOAD(ストップ... アンロード)**”の号令をかけ、**同点や抗議がなければ**、“**RESULTS ARE FINAL(リザルツ アー ファイナル)**”と宣言**し、**アナウンサーは**ブロンズ銅メダルマッチの勝利獲得**チームをアナウンスする。

- 6.18.54.1.b 射場役員は**銃ライフル/ピストル**のアクションが開けられ、セフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。

- 6.18.54.2 **メダルマッチファイナルステージ1とステージ2の交代**

- 6.18.5.2.a ブロンズメダルマッチの選手は、出頭場所の安全な所に置くためにFOPを離れなければならないが、ゴールド／シルバーメダルマッチを座って見るために戻ってきてもよい。
- 6.18.5.2.b ブロンズメダルマッチの完了から少なくとも5分後には、RTSジュリーの標的チェック終了の後、射場長は“RANGE CLEAR(レンジ クリアー)”と宣言する。ゴールド／シルバーメダルマッチの選手およびコーチは自身の射座へ用具を置くことを許可されなければならない。
- 6.18.5.3 ゴールド／シルバーメダルマッチの完了
- 6.18.5.3.a ゴールド／シルバーメダルマッチが決したらすぐに、射場長は“STOP. . . UNLOAD(ストップ. . . アンロード)”の号令をかけ、“RESULTS ARE FINAL(リザルト アー ファイナル)”と宣言し、ゴールドメダル／シルバーメダルマッチの勝利チームをアナウンスする。
- 6.18.5.3.b 射場役員は銃のアクションが開けられ、セフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。
- 6.18.5.3.c 個人戦のファイナル同様、ゴールドメダリストとシルバーメダリストはブロンズメダリストと共にFOPに集まらなければならない、公式写真やアナウンスのために、ジュリーによって並ばせられる。選手は、写真のために、自身の銃を手にとることが許される。そのため、ブロンズメダリストは、遅延なく、出頭場所にある自身の銃を取りに行き、戻ってこなくてはならない。
- 6.18.4.4.a 本選ステージにおいては音楽をかけることが許される。
- 6.18.4.4.b メダルマッチにおいては音楽をかけるべきである。
- 6.18.5.5 想定外や評価の割れる事態
上記のルールに言及されていない事態については6.17が適用される。想定外や評価の割れる事態は、各種目のルールに従い、ジュリーによって裁定される。
- 6.19 書類様式

- 6.18.54.2.a ~~ブロンズメダルマッチ~~ステージ1の選手は、~~ライフル／ピストルを~~出頭待機場所の安全な所に置くためにFOPを離れなければならないが、~~ゴールド／シルバーメダルマッチ~~ファイナルステージ2を留意された席で座って見るために戻ってきてもよい。
- 6.18.54.2.b ~~ブロンズ銅メダルマッチの完了~~決定から少なくとも5分後には、RTSジュリーの標的チェック終了の後、射場長は“**RANGE CLEAR**(レンジ クリアー)”と宣言する。~~ゴールド／シルバーメダルマッチ~~ファイナルステージ2の選手およびコーチは自身の射座へ用具を置くことを許可されなければならない。
- 6.18.54.3 ~~ゴールド／シルバーメダルマッチ~~ファイナルステージ2の完了
- 6.18.54.3.a ~~ゴールド金／シルバー銀メダルマッチ~~が決したらすぐに、射場長は“**STOP. . . UNLOAD**(ストップ. . . アンロード)”の号令をかけ、“**RESULTS ARE FINAL**(リザルト アー ファイナル)”と宣言し、~~する~~。アナウンサーは~~ゴールド金メダル／シルバー銀メダルマッチ~~の勝利獲得チームをアナウンスする。
- 6.18.54.3.b 射場役員は~~銃~~ライフル／ピストルのアクションが開けられ、セフティフラッグが挿入されていることを確認しなければならない。
- 6.18.54.3.c 個人戦のファイナル同様、~~ゴールド金メダリストとシルバー銀メダリストは~~ブロンズ銅メダリストと共にFOPに集まらなければならない、公式写真やアナウンスのために、ジュリーによって並ばせられる。選手は、写真のために、自身の~~銃~~ライフル／ピストルを手にとることが許される。そのため、~~ブロンズ銅メダリストは~~、遅延なく、~~出頭待機場所~~にある自身の銃を取りに行き、戻ってこなくてはならない。
- 6.18.54.4.a 本選ステージにおいては音楽をかける~~ことが許される~~なければならない。
- 6.18.54.4.b メダルマッチにおいては音楽をかける~~べきである~~なければならない。
- 6.18.54.5 **想定外や評価の割れる異論のある事態**
上記のルールに言及されていない事態については6.17が適用される。想定外や~~評価の割れ異論のある事態は~~も、各種目のルールに従い、ジュリーによって裁定される。
- 6.19 **オリンピックのショットガン種目のファイナル (略)**
- 6.20 **ショットガンスキートミックス種目 (略)**
- 6.1921 **書類様式**

抗議用紙 P の抗議提出者(氏名—所属)の欄下側に
ご提供いただきました個人情報(抗議の手続きを進めること)のみに使用いたします。抗議の提出に際しましては、ISSFウェブサイトの「ルール」にあります「ISSFデータ保護規定」を読み、理解したことをご確認のうえ、行ってください。

を追加

上訴用紙 AP の上訴提出者(氏名—所属)の欄下側に
ご提供いただきました個人情報(上訴の手続きを進めること)のみに使用いたします。抗議の提出に際しましては、ISSFウェブサイトの「ルール」にあります「ISSFデータ保護規定」を読み、理解したことをご確認のうえ、行ってください。

6.20
 6.20.2.6の ~選手の服装はISSFドレスコード(6.7.5および6.20)が守られて~
 下から2
 行目
 6.20.2.7の ショットガン選手は9.12.1に~
 1行目
 6.20.3.1の ~短すぎる半ズボン(6.20.2.8)~
 2行目~
 6.20.4.3の 職務中のジュリーは赤のジュリーベスト~
 1行目
 6.20.4.4の 職務中のショットガンレフリーは青のレフリーベスト~
 1行目
 6.20.4.5の 競技役員およびコーチは、6.20.3に記述されて~
 1行目
 6.20.5 カメラマンやTVカメラマンの服装規定
 6.20.5.1の 派遣されているカメラマンやTVカメラマンが~
 1行目
 6.21 索引

を追加

6.20を6.22に変更
 6.~~2022~~.2.6の下 ~選手の服装はISSFドレスコード(6.7.5および6.~~2022~~)が守られて~
 から2行目
 6.~~2022~~.2.7の1行 ショットガン選手は9.~~12~~13.1に~
 目
 6.~~2022~~.3.1の2行 ~短すぎる半ズボン(6.~~20~~22.8)~
 目~
 6.~~2022~~.4.3の1行 職務中のジュリーは**ISSFの承認した**赤のジュリーベスト~
 目
 6.~~2022~~.4.4の1行 職務中のショットガンレフリーは**ISSFの承認した**青のレフリーベスト~
 目
 6.~~2022~~.4.5の1行 競技役員およびコーチは、6.~~2022~~.3に記述されて~
 目
 6.~~2022~~.5 カメラマン、**コメンテーター**やTVカメラマンの服装規定
 6.~~2022~~.5.1の1行 派遣されているカメラマン、**コメンテーター**やTVカメラマンが~
 目

6.2123 索引
~~10m射場一標的装置 削除~~
 25m/50m屋内射場 6.4.3.3.ed
 25m/50m精密ピストル一標的 6.3.~~24~~.5
 25m射場一射座基準
 50m射場一射座基準 6.~~34~~.9
 ISSFルールの精神と意思 6.8.~~10~~13
~~RTS室一任務と手順 削除~~
 R T S ジュリー一採点の監督 6. 8. b/6. 10. 3. 1
 R T S ジュリーの裁定 6. 10. 3. 1/6. 16. 5
 S T A R T 前の発射 6. 11. 1. 1. ~~ik~~
~~安全一射場 削除~~
~~安全一選手、役員、観客 削除~~
~~安全の基本 削除~~
 エクストラショットモニターへの不表示 6. 10. ~~109~~. 4
 屋内射場一照度測定 6. 4. 14. 2/6. 4. 14. 3
 オリンピック種目のファイナルでの同点 6. 15. 4
 音響減衰装置 6. 2. 5
 音響発生/~~減衰~~装置 6. 7. 4. 3
 空撃ち 6. 2. 4. 1/6. 11. 1. 1. e
~~紙またはゴムロールの送り不良 6. 10. 6~~
 観客エリア 6. 4. 1. 5/6. 4. 3. 4
 虚偽情報 6. 12. 6. 1. c
 空気/CO₂シリンダー一選手の責任一有効期間 6. 7. 6. 2. g/6. 2. 4. 2
 空気/CO₂シリンダー一有効期間 6. 2. 4. 2/6. 7. 6. 2. g
 空気銃弾一発のみ装填 6. 11. 2. 4/6. 2. 3. 3
 減点一準備時間~~を~~前の圧縮気体の放出 6. 11. 2. 1
 抗議時間 6. 16. 5. 1/6. 16. 3
 公式行事への適切な服装一服装規定 ~~6. 17. 1. 36~~. 7. 5/6. 22
 公式射撃種目表 P(177)

号令	LOAD/START-UNLOAD/STOP	6.2.3.1
誤射-弾痕の取り消し		6.11.6.7/6.11.6.9
誤射-弾痕誤射の否認		6.11.6.6
個人種目の同点-すべての同点は順位決定される	削除	
裁定-ジュリー		6.8.8/6.8.9
式典-選手の出席		6.2022.2.4
射座-備品-25mピストル射場		6.4.11.10
射座-備品-全般		6.4.7.2
射座割-10m種目		6.6.6.f/6.6.6.g
射座割-基本原則		
射場内全部の標的の故障-競技手順	削除	
射場における安全に関する措置		6.2.1.4
射場役員-責任	削除	
銃器への装填-弾倉の使用-ライフル種目、10m/50mピストル		6.2.3.3
種目		
種目表		p(178/9)
ジュリー-ISSFルールの知識と効力	削除	
ジュリー-監督-用具、銃器、姿勢の検査		6.8.5/6.8.6
ジュリーが射場にいること		6.8.8/6.8.15
ジュリーによる検査-弾痕が表示されない時のエクストラショット		
準備時間-試射的、競技前チェック		6.11.1.1.b/6.11.1.1.f
準備時間前の風旗のチェック(50m/300m)		6.4.4.6
照準練習-10m、50m		6.11.1.1.e
小数值採点		6.3.3.1/6.3.3.2/6.3.3.3
照度測定-10m屋内射場		6.4.14.34
書式		6.21
書面抗議-ISSF本部への裁定の送付		6.16.67
世界記録-公認		6.14.9.54
世界記録-ジュニア		6.14.9.32
世界記録-ファイナル	削除	
前日練習(PET)		6.6.3.2
選手、射場役員、観客の安全		6.2.1.3/6.2.2.3
宣伝(プロパガンダ)		
装填-2発以上の装填=エアガン		6.11.2.4.b
弾痕の位置表示や得点記録に対する不満(EST)		6.10.8/6.10.9.3
弾痕の取り消し-選手が撃っていないことの確認		6.11.6.9.a/6.11.6.7
定義と略号		p(175/6)
テクニカルデレゲートによる電子標的の検査		6.3.2.8
電子装置		6.7.4.4/6.11.8f
電子標的における得点に関する抗議		6.10.7/6.16.5.2
同点-個人	削除	
同点の順位決定-団体種目		6.15.5
得点の抗議		6.10.7/6.16.5
得点の抗議-電子標的:2点の減点		6.16.5.2.c/6.10.7.d
ドレスコード		6.7.5/6.2022
ドレスコード-禁止アイテム		6.2022.3
表彰式		6.17.76
標的役員による試射-本射の切り替え		6.11.1.1.kj
ファイナル-1個の標的の故障-試射中		6.17.1.8.a
ファイナル-1個の標的の故障-ファイナル中		6.17.1.8.b
ファイナル-25mピストル女子		6.17.5
ファイナル-25mラピッドファイアピストル男子		6.17.4

ファイナル-START前またはSTOP後の発射-10m/25m/50m	6.17.1.14. h- & /6.17.1.14. i
ファイナル-抗議の裁定まちによる開始の遅れ	6.8.12
ファイナル-競技手順-50m伏射/50mピストル	削除
ファイナル-号令-10mR&P/50m伏射、50mライフル/ピストル	6.17.2
ファイナル-コーチング	6.17.1.14. n
ファイナル-最終公式成績	削除
ファイナル-試射の号令-10mR&P/50m伏射、50mライフル/ピストル	6.17.2. d
ファイナル-銃器の故障-10m/50mファイナル	6.17.1.6
ファイナル-準備時間-10m/50m	6.17.2. d
ファイナル-準備時間-25m種目	6.17.4. e- & /6.17.5. e
ファイナル-小数採点	6.3.3.3
ファイナル-同点-10m/50m伏射、50mピストル	6.17.2. j
ファイナル-得点の発表-10m/50m種目	6.17.2. g- + 6.17.2. h
ファイナル-ピストルサポートスタンド	6.4.11.10. c
ファイナル-ファイナリストの人数-10m/25m/50m種目	6.17.1.1
ファイナル-ファイナリストの人数-25m種目	削除
ファイナル-ファイナル公式成績	6.17.1.14. p
ファイナル-ファイナルにおける抗議-裁定	6.17. 6 1.13
ファイナル-ファイナルでの失格	6.12.6.2. c/6.17.1.14. h
フィールドオブプレイ	削除
服装規定-適切な服装	6.7. 65 /6.22
不当な有利-他の選手より	6.7.1/6.1.4
不発射弾	6.11.1.2. f
プリンター用紙へのサイン-電子標的	6.10.4. f/6.10.4. g
プロパガンダ	6.12.1
ペナルティカード	6.12.6.2. a/b/c/f
ミス-不発射弾	6.11.1.2. f
ミックス種目-10mライフル/ピストル	6.18
迷彩生地	6. 20-10 22.3.1
メダル授与式	6.17.6
役員または選手に対する暴力行為	6.12.6.2. d/6.12.6.4
用具検査-用具のタグ付けと銃器のマーキング	6.7.6.2. e
ロード-定義	6.2.3.4
ロード-2発以上の装填	6.11.2.4

付則
序文の
6行目

紙標的に関するルール
~を認めている。この紙標的に関するルールは~

付則
序文の
6行目

紙標的採点に関するルール
~を認めている。この紙標的採点に関するルールは~